



はじめに

～子どもと本との出会いのために～

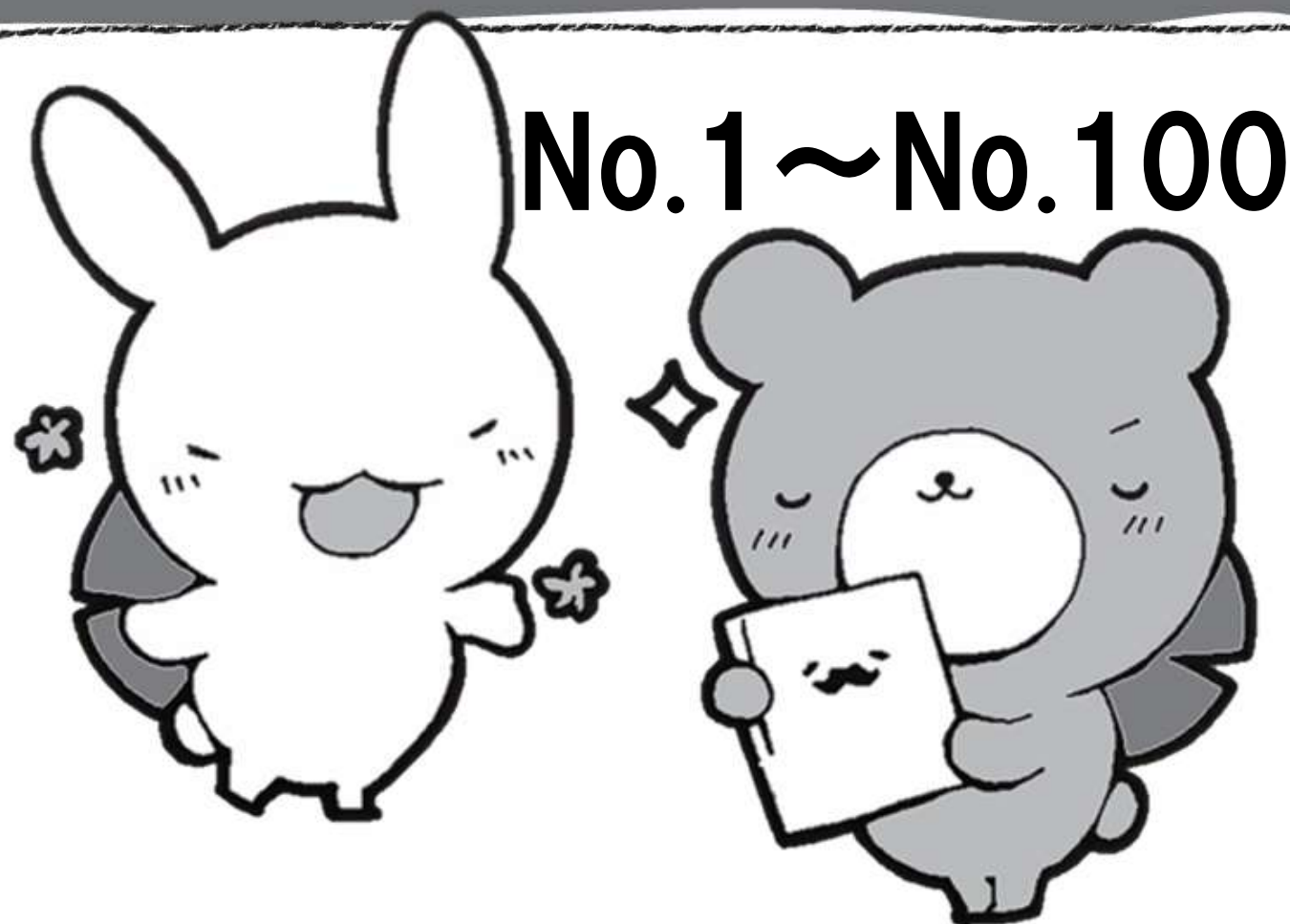
幼いころからよい本に出会うことは、一生の宝物になります。

子どもたちが本を選ぶ楽しさを感じ、たくさんの本に出会って
もらうことを願い、図書館では 2015 年より「しょうかいします
こんな本」というカードを発行してきました。お料理のレシピカー
ドのように気軽に手にとってもらえるよう、自由なテーマで 5 冊
の本を紹介するカードです。

今回No. 1～No. 100までを一冊にまとめました。

この冊子が本選びのきっかけに、また子どもたちに本を届けて
いただく皆様の助けになれば幸いです。

福知山市立図書館



No.1～No.100

福知山市立図書館

* も く じ *

- | | | | |
|-------------------------|--------------------------------|-------------|------------------------|
| 1. おふとん | 26. さかな | 51. じてんしゃ | 76. うるさい |
| 2. しろとくろ | 27. すもう | 52. やまんば | 77. りんご |
| 3. にんじゃ | 28. ちきゅう | 53. おおきい！ | 78. 画家 ^{が かく} |
| 4. おかず | 29. つよい | 54. いす | 79. おやすみなさい |
| 5. どうぶつえん | 30. きもち | 55. きょうりゅう | 80. たべる |
| 6. しりとり | 31. 本 ^{ほん} ってすてき | 56. おせちりょうり | 81. おおみそか |
| 7. 十二支 ^{じゅうにし} | 32. 図書館 ^{としょかん} ってすてき | 57. こおり | 82. ちょんまげ |
| 8. おもち | 33. デパート | 58. チョコレート | 83. ホットケーキ |
| 9. かぜひき | 34. なつとう | 59. かず | 84. いちにち |
| 10. かいぞく | 35. たんてい | 60. ひっこし | 85. ゴミ |
| 11. おふろ | 36. でんしゃ | 61. おはなみ | 86. みつばち |
| 12. おつかい | 37. おにいちゃん | 62. がっこう | 87. こびと |
| 13. カレーライス | 38. うそ | 63. ちか | 88. かえる |
| 14. オーケストラ | 39. パンダ | 64. だんごむし | 89. おようふく |
| 15. いえ | 40. レストラン | 65. キャベツ | 90. えんぴつ |
| 16. サーカス | 41. でんき | 66. いえで | 91. こうえん |
| 17. ドーナツ | 42. かたつむり | 67. かさ | 92. てるてるぼうず |
| 18. あし | 43. 科学者 ^{かがくしゃ} | 68. あさ | 93. りす |
| 19. くらやみ | 44. スイカ | 69. うどん | 94. かくれんぼ |
| 20. ぎょうれつ | 45. さかさま | 70. とり | 95. てがみ |
| 21. にわ | 46. ぼうけん | 71. やま | 96. ひげ |
| 22. ひまわり | 47. まいご | 72. くじら | 97. タコ |
| 23. かわ | 48. ぐうたら | 73. ナマケモノ | 98. バス |
| 24. まる | 49. たび | 74. ぼうし | 99. どんぐり |
| 25. おすし | 50. さかさことば | 75. とうふ | 100. ひゃく |



しょうかいします
こんな本 No.1

ぬくぬくきもちい〜い

おふとんのえほん

『おふとんのくに』

D(でいー)／作・絵 金の星社

あくびがでたら、おふとんのとんねるをくぐって
しゅっぱつだ！

『おふとんかけたら』

かがくい ひろし／さく ブロンズ新社

たこさん、まめさん、ありさん…おふとんかけたら
どうなるのかな？

『ぼくのふとん』

鈴木 のりたけ／作・絵 PHP研究所

まいにちおなじふとんじゃつまらない。
いろんなふとんをかんがえたよ。

『ぼくのふとんはうみでできている』

ミロコマチコ／著 あかね書房

ぼくはきょう、ねこのシロとうみのふとんでねる。
ザーンザーンとなみのおとがきこえて…

『ふとんちゃん』

きむら よしお／作 絵本館

そらからおちてきたふとんちゃんは、ダンス
したり、あかずきんちゃんになったり。



しょうかいします
こんな本 No.2

しろとくろのえほん

^{しろ}白がすき？^{くろ}黒がすき？
^{しろくろ}いろんな白黒がでてきます。

『おおきなねこのクロと

ちいさなねこのシロ』

にしまき かやこ／作 偕成社

2ひきのねこの、こころあたたまるおはなし。

『おしろとおくろ』

丸山 誠司／著 佼成出版社

^{しろ}お城のおしろじいさんとおくろじいさん。

どっちのひげがりっばか、しょうぶだ！

『しろもくろも、みんなおいで』

あベ 弘士／作 童心社

まっしろ、まっくろ、しろくろのもよう、きせつでかわる

しろくろ。いろんな^{どうぶつ}動物がいるよ。

『^{しろ}白い池^{いけくろ}黒い池^{いけ} イランのおはなし』

ヴァリ・ミンツィ／絵 光村教育図書

なくなつたお母さん^{かあ}がくれた毛糸玉^{けいとだま}をころがしてしまった
シラズ。おばあさんは、たのみごとをきいてくれたら
^{けいと}毛糸^{かえ}を返してくれるというのですが…

『しろいうさぎとくろいうさぎ』

ガース・ウィリアムズ／ぶん、え 福音館書店

ひろい^{もり}森にすんでいる、なかよしのうさぎのおはなし
です。



しょうかいします
こんな本 No.3

にんにん、さんじょう！

にんじゃのえほん

『どじにんじゃ』

新井 洋行／作・絵 講談社

やることなすことドジばかり！

『あかにんじゃ』

穂村 弘／作 岩崎書店

あかいからすぐみつかる。みつかる、

ドロンドローンとすがたをかえて…

『ニンジャさるとびすすけ』

みやにし たつや／作絵 ほるぷ出版

おなやみ^{にんじゃ}忍者^{しゅぎょうちゅう}すすけは修行中。

『いいからいいから 4』

長谷川 義史／作 絵本館

あるひ、おとうさんがにんじゃをうちにつれてかえって
きたが…

『よふかしにんじゃ』

エド・ヤング／絵 光村教育図書

まよなかでござる。

にんじゃはなにをすゐるでござるか。



しょうかいします
こんな本 No.4

こんやはなあに？

おかずのえほん

『きょうのごはん』

加藤 休ミ／作 偕成社

えほんをあけるといいにおいがしてくるようです。

『うちのコロッケ』

村上 康成／絵 世界文化社

「今日の晩御飯はコロッケに決定！」とお父さんが
いいました。

『おでんしゃ』

塚本 やすし／作 集英社

ほかほかおいしいおでんの具たちが電車になって
たび旅をするよ。

『まほうのでんしレンジ』

さいとう しのぶ／作・絵 ひかりのくに

おさらをいれて食べたいものを歌うと、ごちそうが
でてくるふしぎなでんしレンジ！

『串かつやよしこさん』

長谷川 義史／作 アリス館

串カツめいじん、よしこさんの作る串カツはひとを
しあわせにします。



しょうかいします
こんな本 No.5

いこうよ、いこうよ♪

どうぶつえんの えほん

『ぼくんちどうぶつえん』

大島 妙子／絵 童心社

ぼくんちは、とってもたのしいどうぶつえんです。

さあ、はいってみてください。

『つんつくせんせいどうぶつえんにいく』

たかどの ほうこ／さく・え フレーベル館

パンダだけほめて、ほかのどうぶつたちのわるくちを

いうつんつくせんせいをやっつけようとして…

『したのどうぶつえん』

あき びんご／作 くもん出版

「どうぶつえんまええき」でおりたら、かいだんが
したにのびていて…

『シルヴィーどうぶつえんへいく』

ジョン・バーニンガム／さく BL出版

シルヴィーのしんしつのかべにあるドアをあけると、
なんとそこは、どうぶつえん！

『おしゃべりどうぶつえん』

高畠 那生／絵 絵本館

しいくがかり
飼育係のおてつだいをしている、もゆちゃんの
かんさつ^{にっき}日記。



しょうかいします
こんな本 No.6

「ん」がついたらおしまい

しりとりのおほん

『しりとりしましょ！』

さいとう のぶ／作 リーブル

たべものがたくさんでできますよ。

『しりとりさんぽ』

壁谷 芙扶／絵 小学館

しりとりしながら、どんどんあるいていけちゃいます。

『十二支のしりとりえほん』

高畠 純／作 教育画劇

じゅうにし どうぶつ
十二支の動物たちがしりとりで^{だいかつやく}大活躍。

『しりとりのだいすきなおうさま』

はた こうしろう／絵 鈴木出版

なんでもしりとりのじゅんばんどおりじゃないと
きがすまないおうさまのおはなし。

『おえかきしりとり』

新井 洋行[ほか]／作 講談社

こたえはあとで。えをみてかんがえてみてね。



しょうかいします
こんな本 No.7

「えと」ともいいます

じゅうにし

十二支のえほん

じゅうにし 『十二支のはじまり』

高谷 まちこ／ぶんえ ハッピーオウル社

ちゅうごく えと
中国でうまれた「干支」のおはなし。

せかい じゅうにし
世界の十二支ものっています。

じゅうにし こばなし 『十二支のどうぶつ小噺』

川端 誠／作 BL出版

じゅうにし どうぶつ らくご えほん
十二支の動物たちをネタにしたたのしい落語の絵本
です。

じゅうにし どし 『どうして十二支にネコ年はないの？』

メイロ・ソー／絵 徳間書店

ぼくはネコのマオ。とつぜん、むかしむかしのネコに

なって、エミリにじゅうにし
十二支のおはなしをはじめたんだ…

じゅうにし 『十二支のしんねんかい』

柳原 良平／画 こぐま社

じゅうにし
十二支そろってたのしいしんねんかい。

みんなのごしょうかいとごあいさつです。

『わかりますとも！』

五味 太郎／作 クレヨンハウス

どし
サル年のひとはこんなひと？

えと えほん
「干支セトラ絵本」シリーズ。



しょうかいします
こんな本 No.8

あつあつふくら
おもちのえほん

『おもち！』

村上 康成／絵 小峰書店

ぺったんぺったんぺたぺったん、
おもちをついたらあらふしぎ！

『おもちのおふろ』

植垣 歩子／絵 学研教育出版

おもちのもーちゃんとちーちゃん、
のんびりできるおふろはあるのかな？

『もちっこやいて』

やぎゅう げんいちろう／さく 福音館書店

やいて、ひっくりかえして…みぶりてぶりであそべる、
ほうげん
方言がたのしいわらべうたえほん。

『もちもちおもち』

庄司 三智子／著 岩崎書店

あんこに、きなこに、いそべまき、
いろんなおもちがでできます♪

『おもちのきもち』

かがくい ひろし／作・絵 講談社

たごさくさんのいえから、かがみもちがにげだした。
にげだしたおもちの^{けっしん}決心とは。



しょうかいします
こんな本 No.9

ぶるぶる、はーくしょん！

かぜひきのえほん

『エイモスさんがかぜをひくと』

エリン・E. ステッド／絵 光村教育図書

どうぶつえん
動物園ではたらくエイモスさんが、かぜでやすんで
しまいました。どうぶつ動物たちは心配しんぱいでなりません。

『ねつでやすんでいるキミへ』

しりあがり 寿／作・絵 岩崎書店

ねつをだしてやすんでいる「キミ」。はやくげんきに
なって、とねがっているひとがいます。

『まじょがかぜをひいたらね』

高畠 純／え 理論社

まじょはかぜをひいても、びょういんへいきません。
まじょならではのほうほうでなおします。

『かぜをひいたケイティ』

ケイティ・ブラタン／絵 サイエンティスト社

ケイティはくしゃみがとまりません。おねつは？はなみず鼻水は？
ヒッポ先生せんせいのびょうきにあわてないシリーズ。

『かぜひいちゃった日』

キム ドンス／作・絵 岩崎書店

ダウンジャケットから1まいのはねがとびだしていた。
どうしてかな、とかんがえているうちに…



しょうかいします
こんな本 No.10

うみのあばれんぼう

かいぞくのエほん

『かいぞくリラちゃん』

ジョージ・バーケット／さく 評論社

リラちゃんはいぞくだぜい。

なかまたちとかいぞくせんでぼうけんた。

『かいぞくはパンツがだいすき』

ベン・コート／絵 講談社

きんいろにかがやく、でんせつのパンツをさがしに

しゅっぱつだ！

かいぞく 『海賊』

田島 征三／作 ポプラ社

ひとりの海賊があるひ、人魚をひとめみて、
こいにおちた。

『かいぞくのうた』

和田 誠／作 あかね書房

ほんをよんでいたら、かいぞくになりたくなった。

ぼくはうちをでた。

かいぞく 『こうしてぼくは海賊になった』

デイビッド・シャノン／絵 評論社

ぼくは、海賊のこと、知ってるんだ。

なぜかというとな...



しょうかいします
こんな本 No.11

ちゃぷちゃぷ きもちい〜い

おふろのえほん

〜「おうち」のまき〜

『わにわにのおふろ』

山口 マオ／え 福音館書店

わにわにはおふろがだいすきです。

うたもうたってじょうきげん！

『おふろにいれて』

せな けいこ／作・絵 ポプラ社

りゅうりゃんがおふろにはいっていると「ぼくもいれて」

といぬさんがやってきた。つぎにきたのは…

『おふろ』

出久根 育／作・絵 学研

ひとりでおふろにはいるのは、ドキドキする。

ほら、でたよ！

『おふろだいすき』

林 明子／絵 福音館書店

ぼく、おふろだいすき。いっしょにはいる、あひるの

プッカもおふろだいすきだよ。

『おふろのおふろうくん』

及川 賢治／作 学研

おふろにいるのはだれだろう。それは、おふろが

だいすきなおふろうくんです。



しょうかいします
こんな本 No.12

どきどき！できるかな？

おつかいのえほん

『はじめてのおつかい』

林 明子／え 福音館書店

あかちゃんのぎゅうにゅうをかいに。ままとのやくそく
は、くるまにきをつけること、おつりをわすれないこと。

『こぶたのかばん』

佐々木 マキ／作 金の星社

ぐぶたのきいろいかばん。おかあさんにたのまれた
けちゃっぷをかって、いれたのですが…

『オンブバッタのおつかい』

やました こうへい／絵 教育画劇

とめさんは、こんじきどうにだんごをとどけに
でかけました。^{えど}江戸のふぜいが^{たの}楽しいシリーズ。

『おつかいくん』

鈴木 のりたけ／作 小学館

かいがらをかぶったおつかいくんがおつかいに行^いくよ。
^{めいろ}迷路になっている^{えほん}絵本。

『^{ばしや}馬車でおつかいに』

ウィリアム・スタイグ／さく 評論社

パーマーさんとエベネザーじいさんは、いちばで
^{やさい}野菜を売って、^{かえ}帰ろうとしましたが…



しょうかいします
こんな本 No.13

だいす
みんな大好きメニュー！

カレーライスの えほん

『ひみつのカレーライス』

田中 清代／絵 アリス館

だいすきなカレーライスをたべていると、かりっ。
カレーのたねがでてきました。

『ぼくんちカレーライス』

つちだ のぶこ／作 佼成出版社

ぼく、カレーがたべたくなっちゃった。そうしたら、
みんなカレーがたべたくなっちゃったみたい。

『おともだちカレー』

江川 智穂／絵 世界文化社

ひとりでいるのがすきな、うさぎちゃん。みんなは
うさぎちゃんとなかよくなりたいんだよ。

『カレーだいおうのまほう』

石倉 ヒロユキ／作・絵 ひさかたチャイルド

インドからやってきたカレー^{だいおう}大王が、不思議な呪文^{ふ し ぎ}を
^{とな}唱えると…。

『かえるとカレーライス』

長 新太／さく 福音館書店

やまからけむりがでてきて、おおきなカレーライス^{やま}山
ができました。



しょうかいします
こんな本 No.14

じゃじゃじゃじゃーん♪

オーケストラの えほん

『105にんのすてきなしごと』

マーク・シーモント／絵 あすなろ書房

がくだんいん
楽団員たちは、よるのえんそうかいにむけて、
じゅんぴをします。

『おーちゃんのおーけすとら』

ディック・ブルーナ／ぶん／え 福音館書店

11にんのおーけすとらです。とらんぺっと、ふるーと、
バイオリン…おーちゃんは、なにをひくのかな。

『オーケストラ^{わら}笑う』

小澤 一雄／作・絵 ポトス出版

おんがくだいす
レミとドラは音楽大好ききょうだい。おじさんが^{しゅつえん}出演
するオーケストラのコンサートにやってきました。

『野^のはらの音楽家マヌエロ^{おんがくか}』

ドン・フリーマン／作 あすなろ書房

カマキリのマヌエロは^{うつく}美しいえんそうにききほれ、
じぶんでもきれいな音^{おと}をだしたくなりました。

『もりのおんがく』

谷内 こうた／絵と文 講談社

もりにさしこんでくるひかりのなかで、おんがくが
はじまった。



しょうかいします
こんな本 No.15

それぞれのくらしがあります

いえのえほん

『^{ひゃくねん}百年^{いえ}の家』

ロベルト・インノチェンティ／絵 講談社

^{いつけん}一軒^{ふる}の古い家が、そこに暮らす人々とともに^{ひゃくねん}百年の
^{れきし}歴史をつむぎます。

『ぼくのいえにけがはえて』

石井 聖岳／絵 くもん出版

へんなおとでめがさめたぼくはびっくり！

ぼくはいそいで、とこやさんにはしりました。

『ちいさいうち』

バージニア・リー・バートン／文・絵 岩波書店

おかのうえのちいさいうち。ときがたって、
まわりはだんだんかわっていきます。

『わたしのいえ』

カーソン・エリス／作 偕成社

いなかのいえ、まちなかのいえ、せいたかのつぽのいえ、
ひくいいえ…あなたのいえはどんないえ？

『おじいさんのいえ』

植垣 歩子／さく 偕成社

おじいさんは、たびのとちゅう、いろんないえで
やすませてもらいます。



しょうかいします
こんな本 No.16

ハラハラ、ドキドキ、ワクワク！

サーカスのえほん

『サーカス！』

ピーター・スピーア／作 福音館書店

サーカスだんがやってきた！テントをはり、
じゅんびをします。

『たまごサーカス』

ふくだ じゅんこ／作 ほるぷ出版

ピエロのまねをしてたまごをほうりなげたら、
おとしてわれちゃった！

『すごいサーカス』

古内 ヨシ／作 絵本館

どうぶつたちのサーカス、とにかくすごいんです…？！

『てんつくサーカス』

田中 六大／え くもん出版

てんてんつくつく、てんつくサーカスがやってきた！
てんてんついたら、はやがわり！

『へんてこサーカス』

フィリケえつこ／作 ほるぷ出版

よくみると、あらふしぎ。うごいてないのにうごいて
みえる。目がだまされてしまうえほん。



しょうかいします
こんな本 No.17

あなからむこうがみえるよ

ドーナツのえほん

『きょうはすてきなドーナツようび』

山田 詩子／絵 アリス館

いちどたべたひとはかならずまたかいにくるくらい、
おいしいドーナツやさんのおはなし。

『ドーナツだいこうしん』

レベッカ・ボンド／さく 偕成社

いちばんさいしょは、ドーナツひとつ。おいしそう、
たのしそうと、だんだんみんながついてきた！

『ドーナツなんかいらないよ』

マーク・アラン・スタマティー／おはなしとえ 国書刊行会
サムには、たりないものはなにもない。けれども、
とにかくたくさんのドーナツがほしいんだ！

『いかすぜ！ブブヒコ〜チワワとドーナツ！のまき』

大島 妙子／絵 文溪堂

パパしゃんにかってもらったドーナツがコロコロ
ころがっていった！

『クマさんのドーナツ』

みやざき ひろかず／作・絵 ひかりのくに
わすれんぼうのクマさん。「あれっ、ぼくはなにを
たべたかったんだっけ？」



しょうかいします
こんな本 No.18

うらはあるけど、おもてはない？

あしのえほん

『あし によきによき』

深見 春夫／作・絵 岩崎書店

おおきなそらまめをたべると、ポコさんのあしが
によきによきのびてきて…

『あしのうらのなし』

やぎゅう げんいちろう／さく 福音館書店

ゴリラとはちがう？オランウータンとは？
にんげんのあしはどうなっているのかな。

『あしなが』

あきやま ただし／作・絵 講談社

あしながは、くびやしっぽまですらりとながい、
うつくしい^{いぬ}犬でした。

『でっこりぼっこり』

高畠 那生／作 絵本館

きょだいじんのあるいたあとは、ぼっこりあなが
あいている。そして、^{ちきゅう}地球のうらがわには…？

『ひとあしひとあし』

レオ・レオニ／作 好学社

ちいさなみどりのしゃくとりむしは、あるいて^{なが}長さを
はかりました。



しょうかいします
こんな本 No.19

きみはみたことがあるか

くらやみのえほん

『くらいところからやってくる』

小林 系／絵 講談社

あかりをつけたまま、ねちゃいけないの？

くらいところから、何かが^{なに}見^みているような^き気がするよ。

『くらくてあかるいよる』

ジョン・ロツコ／作 光村教育図書

いつもどおりの^{なつ}夏^{よる}の夜。

まちのあかりが、みるみるきえた！

『おいしいのぼうけん』

たばた せいいち／〔画〕 童心社

おひるねの^{じかん}時間^{じかん}にいつまでもさわいでいると、
まっくらなおしいれにいれられてしまうよ！

『きみはうみ』

西 加奈子／絵と文 スイッチ・パブリッシング

あのきれいな^{うみ}海^{うみ}にもくらやみがある。くらやみも、
とってもきれいな^{ばしょ}場所^{ばしょ}なんだよ。

『おばけのきもだめし』

山本 孝／絵 岩崎書店

おばけもおばけがこわいんです…。



しょうかいします
こんな本 No.20

ずら～っとならんだら…

ぎょうれつの えほん

『3じのおちゃんにきてください』

なかの ひろたか／え 福音館書店

まりちゃんは、たくさんの^{とも}友だちをさそって、お茶に^{ちゃ}
でかけます。

『ぎょうれつのできるすうぷやさん』

ふくざわ ゆみこ／さく 教育画劇

おいしそうなにおいをたどっていくと、そこは
まじよ^{いえ}の家！

『きょうはだいじゅうたい』

劉 貞秀／絵 金の星社

きょう^{きょう}とう^{とう}今日はお父さんとドライブ！だい^{だい}じゅうたいに
はまっちゃったよ。

『でっこりぼっこり』

高畠 那生／作 絵本館

きょだいじんのあるいたあとは、ぼっこりあなが
あいている。そして、地球^{ちきゅう}のうらがわには…？

『ひとあしひとあし』

レオ・レオニ／作 好学社

ちいさなみどりのしゃくとりむしは、あるいて^{なが}長さを
はかりました。



しょうかいします
こんな本 No.21

そだててたのしい
にわのえほん

にわ
『庭をつくろう！』

ゲルダ・ミュラー／作 あすなろ書房

ひっこしてきた家の庭は、あれほうだい！

すてきな庭をつくるには？

『うえきやのくまさん』

フィービ・ウォージントン／さく・え 福音館書店

うえき屋のくまさんは、となりのうちへ庭の手入れに
いきます。

『ローズのにわ』

ピーター・レイノルズ／作 主婦の友社

ローズは、世界中をぼうけんし、きねんに、花のたねを
あつめました。

にわ
『庭にたねをまこう！』

ジョーン・G. ロビンソン／文・絵 岩波書店

何日もかけて土をたがやして、たねをまいた庭には、
やがて花がさき、鳥がやってきました。

『ルラルさんのにわ』

いとう ひろし／作 ポプラ社

ルラルさんのじまんのにわに、大きな丸太。

けとばそうしたら、丸太が口をあけて…！



しょうかいします
こんな本 No.22

おひさまのはな

ひまわりのえほん

『ひまわり』

荒井 真紀／文・絵 金の星社

ひまわりのたねを、まいてみましょう。

ひまわりの^{いっしょう}一生がわかる^{えほん}絵本。

『バスがくるまで』

黒井 健／え 小峰書店

くまのこは、バスのていりゅうじょまで

おばあちゃんをむかえにいきます。

『ひまわり』

和歌山 静子／作 福音館書店

ちいさなたねが、どんどこんどこそだちます。

『ひまわりのおか』

松成 真理子／絵 岩崎書店

^{つなみ}津波でわが^こ子をなくしたおかあさんたちは、^{しょうがっこう}小学校の

そばにたくさんのひまわりを^う植えました。

『なつですよ』

近藤 薫美子／え 金の星社

「こんにちは なつですよ」…いろんなところになつが
きました。



しょうかいします
こんな本 No.23

ながれていくよ

かわのえほん

『ちいさいかわのうた』

田頭 よしたか／絵 ひさかたチャイルド

ちい かわ 小さい川は、はしります。うみ 海にあうために…

『かわ』

鈴木 のりたけ／著 幻冬舎

やま あめ ふ 山に雨が降り、だんだん大きな流れになっていきます。おお なが

かわ なか せ かい 川の中の世界をのぞいてみよう！

『川の中で』

宮本 忠夫／え くもん出版

かわ いし 川の石は、ひさしぶりに目をさました。め かわ いし 川の石は、ちい 小さなまるいつぶにかこまれていました。

『ひみつの川』

レオ・ディロン／絵 BL出版

かわ と さかな むらびと ひみつの川で取れた 魚 は、村人たちの生活を救いました。せいかつ すく かわ ふ し ぎ 川をめぐる不思議なおはなし。

『かわ』

加古 里子／作・画 福音館書店

やま ゆき 山の雪がとけてながれ、やま なか 山の中、たんぼ、まちをとおり、うみ で み 海に出るまでを見ることができます。



しょうかいします
こんな本 No.24

くるくる、ころころ…

まるのえほん

『まんまるがかり』

おくはら ゆめ／作 理論社

ねこのハナマルは、まんまるがかり。アヤちゃんも

いっしょにまるくなるよ。まんまる^{たいそう}体操つき。

『まるいねまるいぬ』

ダン・ヤッカリーノ／絵 BL出版

しかくい^すおうちに住んでいるのは、くるんとまーるく

なってねむる2ひき^{いぬ}の犬です。

『まるまるまるのほん』

エルヴェ・テュレ／さく ポプラ社

これは読む^よ本^{ほん}ではありません。「まる」で遊ぶ^{あそ}本^{ほん}です。

『まるいもののなかに』

荒井 真紀／絵 ポプラ社

まるいもの^{なか}の中^{なに}には何があるの？

詩^しを^{あじ}味わ^{やさ}う^え優しい^{ほん}絵本。

『まんまるパン』

Yoko-Bon／にんぎょう 群像社

まあるいパンがころころころがる、ロシアのお話^{はなし}。

人形^{にんぎょう}の^{しゃしん}写真^え絵本^{ほん}です。



しょうかいします
こんな本 No.25

まわっても、まわってなくても

おすしのえほん

『おすしのせかいりょこう』

鈴木 まもる／絵 金の星社

おすしは店を^{みせ}とびだして、世界を^{せかい}まわる^{たび}旅に^で出た。

『まわるおすし』

長谷川 義史／作 ブロンズ新社

^{つき}月に^{いちど}一度のまわるおすしの^ひ日。きあいをいれて
いくぞー！

『おすしですし！』

田中 六大／絵 あかね書房

すしおくんは、おすしやさんになりたいくて、しゅぎょうの
^{たび}旅に^{ほん}でました。ことばあそびの本。

『おすしのうた』

牛窪 良太／絵・文 教育画劇

くるくるまわるステージから、おすしたちの^{うたごえ}歌声が
きこえてきます。

『くまのおすしやさん』

やまもと たかし／作 佼成出版社

^{とくべつ}特別なネタを^{いちねん}しいれて、一年に^{かい}3回だけ^{かいてん}開店する、
おすしやさんです。



しょうかいします
こんな本 No.26

すいすいおよぐよ

さかなのえほん

『あじのひらき』

井上 洋介／えとぶん 福音館書店

かぜ 風にふかれて、あじのひらきは飛んでった…!

『さかなはさかな』

レオ・レオニ／作 好学社

いけ なか 池の中の おたまじゃくし と こざかな。二ひきは
とてもなかよしだった。

『さかなださかなだ』

長野 ヒデ子／作・絵 偕成社

大きな ^{さかな}魚 ^{りょうり}をお料理するよ!

『さかなってなにさ』

せな けいこ／作・絵 金の星社

クローバーばかりたべてるうさぎさん、^{さかな}魚のほうがいいよ。

『おさかないちば』

加藤 休ミ／作 講談社

^{くら}まだ暗い朝早くから、^{あさはや}市場には^{いちば}新鮮な^{しんせん}魚 ^{さかな}がいっぱい!



しょうかいします
こんな本 No.27

はつきよ〜い！
すもうのえほん

『はつきよいどーん』

やまもと ななこ／作 講談社

ゆうしょう き おおいちばん
優勝を決める大一番！まったなし！はつきよい…！
はくりよくまんてん えほん
迫力満点のすもう絵本。

『りきしの^{はる}春』

本 秀康／絵 あかね書房

なまえ
ぼくの名前は「たかのつめ」。横綱の”たかのはな”
つよ
みたいに強くなるんだ。

はたけばしよ
『はつきよい 畑 場所』

かがくい ひろし／作 講談社

はたけばしよ せんしゅうらく りきし はたけ やさい
畑 場所の千秋楽！力士はもちろん、畑 の野菜たち
です。

『りきしのほし』

加藤 休ミ／著 イースト・プレス

りきし
おいら、力士の かちかちやま。がんばって稽古をして、
つよ
強くなるっす！

『スモウマン』

長谷川 義史／え 講談社

ひと よ
こまっている人がいたら呼んでくれ。ドスコイ！と
せいぎ みかた さんじょう
正義の味方スモウマン参上だ。



しょうかいします
こんな本 No.28

みんなのもの
ちきゅうのえほん

『みんないる』

かさはら のりゆき／作・絵 ひさかたチャイルド

うし 牛がいて、うま 馬がいて…とも 友だちがいて、かぞく 家族がいる。

みんなの大事なものだよ。

『もしも地球が…？』

ポーラ・クルーナン／絵 評論社

「もしも地球が…？」とかんが 考えてみるゲームをすることにした。

『まるいちきゅうのまるいちにち』

エリック・カール／〔ほか絵〕 童話屋

せかいじゅう 世界中に子どもがいます。せかい 世界のいろいろなくに
えほん さっか 絵本作家がいつしょにつく 絵本。

ちきゅう
『地球パラダイス』

石井 聖岳／絵 偕成社

もり のほら 森で、野原で…みんなちきゅう 地球のできごとです。

くどう なおこ 工藤直子さんの詩とカラフルな絵がぴったりです。

ちきゅう
『地球をほる』

川端 誠／作 BL出版

じめん あな 地面に穴をほって、ちきゅう 地球の裏側へいってみよう！

うし 後ろからもよ 読める本。



しょうかいします
こんな本 No.29

けっしてまけない

つよい！のえほん

『おによりつよいおよめさん』

吉田 尚令／絵 岩崎書店

ある日、らんぼうものの鬼^{おに}が、嫁^{よめ}をもらおうと村^{むら}に
やってきたが…。

『もりでいちばんつよいのは？』

アクセル・シェフラー／え 評論社

もり
森でいちばん強い^{つよ}グラファロ！…って、
きみ^し知らないの？！

『いちばんつよいのはオレだ』

マリオ・ラモ／作 平凡社

オオカミは「いちばん強い^{つよ}のは誰^{だれ}だ」と森^{もり}のみんなに
きいてまわります。

『もうよわむしじゃない』

宮西 達也／絵 鈴木出版

ずっと、よわむしじゃだめ！ いっちゃん^{こえ}の^き声が聞こえ
たんだ。

『おによりつよいおれまーい』

土方 久功／再話／画 福音館書店

おれまーい は、大人^{おとな}たちもおそれる強い^{つよ}子ども^こに
成長^{せいちょう}しました。サトワヌ島の民話^{しま みんわ}。



しょうかいします
こんな本 No.30

どんなときもあるよね

きもちのえほん

『うれしいさんかなしいさん』

まつおか きょうこ／さく・え 東京子ども図書館

「うれしいさん」になったり、「かなしいさん」に
なったり。^{まえ}前からでも^{うし}後ろからでも^よ読める^{ほん}本。

『かなしいときには』

キャシー・パーキンソン／絵 PHP研究所

ときどき^{かな}悲しくなっちゃうの。

^{だれ}誰にでも^{とき}そんな時はあるよね。

『さびしいはさびしくない』

田頭 よしたか／絵 教育画劇

どっかの山^{やま}からきた、ひとりぼっちのたぬきくん。
「さびしくない！」っていうんだけど…。

『うれしいがいっぱい』

大島 妙子／絵 ひかりのくに

みんなが^{とくい}得意なことをしたら、^{うれ}嬉しいことが
いっぱい！

『ママがおこるとかなしいの』

望月 麻里／絵 金の星社

メグちゃんは、わがママのおこりんぼう。

…^{ほんとう}本当にそうなのかしら？



しょうかいします
こんな本 No.31

ほん 本ってすてき！ のえほん

『エリザベスは本の虫』

デイビッド・スモール／絵 アスラン書房

エリザベスったら、生まれてすぐに字をおぼえて、
くる日もくる日も本ばかり！

『ほんなんてだいきらい！』

マイケル・エンバリー／え 主婦の友社

どうして本を読まなきゃいけないの？

あたしは、本が好きじゃないんだから…。

『もっかい！』

エミリー・グラヴェット／さく フレーベル館

そろそろ、おやすみの時間。ドラゴンの子、セドリックは
お気に入りの絵本を読んでもらいたくて…

『よにもふしぎな本をたべるおとこのこのはなし』

オリヴァー・ジェファーズ／作 ヴィレッジブックス

ねえ、ヘンリー、本を食べると頭が良くなるってホント？

『ほんちゃん』

スギヤマ カナヨ／さく 偕成社

本ってどんな気持ちなのかな？

本の子ども「ほんちゃん」が主人公です。



しょうかいします
こんな本 No.32

としょかん 図書館って すてき！のえほん

『としょかんライオン』

ケビン・ホークス／え 岩崎書店

としょかん
図書館にライオンが入ってきましたよ！

さあ、どうしましょ！

『ぼくの図書館カード』

グレゴリー・クリスティ／絵 新日本出版社

じぶん ちから ほん よ
自分の力で本を読みたい！でも、黒人は図書館を利用でき
ませんでした。1920年代のアメリカ南部の話。

『としょかんねずみ』

ダニエル・カーク／さく 瑞雲舎

としょかん
サムは図書館にすんでいて、たくさん本を読みました。

そして、自分でも本を書いてみることにしたのです！

『しずかに！

ここはどうぶつのとしょかんです』

ドン・フリーマン／作 BL出版

きょう としょかん どうぶつ き
今日の図書館は、動物が来てもいい特別な日です。

『山のとしょかん』

小泉 るみ子／絵 文研出版

おばあさんは、ふしぎな男の子に絵本を読んであげま
した。すると、男の子は毎夜やってくるようになり…



しょうかいします
こんな本 No.33

たのしくおかいもの♪
デパートのえほん

『びっくり！どうぶつデパート』

スギヤマ カナヨ／絵 アリス館

にちようび、デパートに^か買い物^いに行った。あれあれ、なぜか
^{どうぶつ}動物たちがいっぱいだよ。

『ペンギンのおかいもの』

さかざき ちはる／著 WAVE出版

ペンギンのスィツピは5人^{にん}きようだいで^かお買い物^{もの}に
いきます。みんな^{なに}何^かを^{はたら}買うのかな。

『デパートねずみルーシーのいそがしいいちにち』

タイース ファンデルハイデン／作 えほんの杜

おおぜいの^{なかま}仲間とデパートでくらしてるルーシー。

^{きよう}今日は^{なかま}仲間の^{けっこんしき}結婚式の^{じゅんぴ}準備で^{おお}大いそがしよ。

『すっぽんぽんのすけデパートへいくのまき』

荒井 良二／絵 鈴木出版

デパートであばれる犬の^{いぬ}忍者^{にんじゃ}。正義^{せいぎ}のみかた、
すっぽんぽんのすけにまかせなさ〜い！

『アリゲール デパートではたらく』

植垣 歩子／作 ブロンズ新社

レストランでお^{しょくじ}食事。あれれ！お^{かね}金^たが足りない！
では、デパートで^{はたら}働いてはらってもらいます。



しょうかいします
こんな本 No.34

ねば〜っと

なっとうのえほん

『ゆうれいなっとう』

大島 妙子／絵 アリス館

「う〜ら〜め〜し〜や〜」なっとうが、ものすご〜く
こわい^{こえ}声をだしたんです！

『なっとうかあちゃん』

マスリラ／絵 講談社

100粒^{つぶ}のなっとうの子どもたち、おいしく立派^{りっぱ}に
そだつんだよ〜！

『なっとうくん^{にし}西へいく』

三輪 一雄／作・絵 PHP研究所

なっとう^た食べたことある？くさくてよう^た食べん？
えいよう^{えいよう}栄養あるから^た食べてみて！

『ねばらねばなっとう』

たかお ゆうこ／え ひかりのくに

なっとう^{だいうんどうかい}の大運動会だ。かえ歌^{うた}で楽しく^{たの}歌^{うた}えるよ。

『なっとうぼうや』

わたなべ あや／〔作〕 学研

♪ネバネバネバ…なんと、なっとう^{うた}たちが歌っています！



しょうかいします
こんな本 No.35

めいすいりでじけんをかいけつ

たんていのえほん

『ヨナタンは名たんてい』

ギラド・ソフェル／絵 光村教育図書

ある日スリッパが消えた。忘れてないし、なくしてない。
いったいどこに消えちゃったんだ…？！

『おしりたんてい』

トロル／さく・え ポプラ社

「フーム、事件のにおいがしますね」いつも冷静に、
どんな事件も解決します。シリーズもあるよ。

『としょかんたんていゆめきちくん』

L.L.アフアノ／え 評論社

としょかんだいす 図書館大好き ゆめきちくん。「本がなくなったの」と
としょかんちょう 図書館長さんが泣いているよ。さあどうする？

『ふたりはめいたんてい？』

さこ ももみ／さく アリス館

ココロバナの種がなくなった！これは事件だ！
トトとライヨの探偵コンビの出番だよ。

『王さまめいたんてい』

和歌山 静子／構成・絵 理論社

あたま 頭のい～い王さまが、事件を解決します…？



しょうかいします
こんな本 No.36

がたんごとん
でんしゃのえほん

『でんしゃにのったよ』

岡本 雄司／さく 福音館書店

でんしゃに^の乗って、いとこの家^{いえ}にいくんだ。
^{ほんとう}本当に^{えき}駅の^たホームに^{きぶん}立った気分になる本^{ほん}。

『でんしゃにのろう』

田中 六大／絵 講談社

ネコひげえき^{しゅっぱつ}を出発して、おじいちゃんをむかえに
^い行こう。いろんなまちがい^でが出てくるよ。

『おでんしゃ』

塚本 やすし／作 集英社

おでんがつながっている「おでんしゃ」といっしょに
^{にっぽんぜんこく}日本全国^{たび}を旅しよう！

『でんしゃはっしゃしまーす』

まつおか たつひで／作 偕成社

ゴトンゴトン、あかりちゃんでんしゃです。
^のお乗りのかたは、お急ぎ^{いそ}くださーい。

『がたごとがたごと』

西村 繁男／絵 童心社

がたごと、がたごと…山^{やま}を越えて、電車^こが行くのは、
^{えき}どんな駅？



しょうかいします
こんな本 No.37

ぼくのわたしの、いろんな…

おにいちゃんの えほん

『ぼくのおにいちゃん』

よしなが こうたく／作・絵 PHP研究所

ぼくのおいちゃんは超ワガママ。おばけさん、こんな
お兄ちゃんなんか、つれってってください！

『ぼくもおにいちゃんになりたいな』

イロン・ヴィークランド／絵 徳間書店

きょうだいのいる友だちがうらやましいペーテル。
いよいよ、お兄ちゃんになる日がきましたが…。

『おにいちゃんといもうと』

はた こうしろう／絵 あすなろ書房

お兄ちゃんは、ちいさい妹をからかってばかり。
なんでそんなことするのかな。

『おにいちゃんがいるからね』

エヴァ・エリクソン／絵 徳間書店

3時になったのにパパがお迎えに来ない！
お兄ちゃん、がんばります。

『ぼくだけのおにいちゃん』

福田 岩緒／作 文研出版

いばりんぼうのお兄ちゃん。ぼくのこと「よわむし」って
いう。でも大好きなんだ。



しょうかいします
こんな本 No.38

ついちゃいけない？

うそのえほん

『うそ』

ミロコマチコ／絵 金の星社

うそはついちゃいけません。それは本当？

うそをついていない人なんている？

『あたし、うそついちゃった』

ローラ・ランキン／さく 評論社

校庭でひろったかわいいカメラ。わたしのもの、って
うそついちゃったの…。

『オオカミがきた』

ささめや ゆき／絵 岩崎書店

むらびと おもしろ ほんとう
村人をだまして面白がっていたら、本当にオオカミが
きた たいへん
来たから大変！ イソップのおはなし。

『うそつきとどろぼうとせいぎのみかた』

竹内 通雅／え WAVE出版

いっしょうけんめい とも まも
ボクは一生懸命うそをついた。友だちを守るために。
ほんとう やさ かんが ほん
本当の優しさを考える本。

『うそだあ！』

山村 浩二／絵 文溪堂

きみ はなし おもしろ
君の話は、面白いんだけど、とっぴょうしもないん
だよね！



しょうかいします
こんな本 No.39

しろくろもようがかわいい

パンダのえほん

『パンちゃんのおさんぽ』

どい かや／作・絵 BL出版

でんぐりがえしが得意なパンちゃん。でんぐる、でんぐる
すす
進んでいくと…。

『いしゃがよい』

さくら せかい／さく 福音館書店

やま
山のふもとで泣いていたパンダの子。エンさんは
ファンファンと名づけ、一生懸命に育てたよ。

『パンダ^{せんとう}銭湯』

tupera tupera／さく 絵本館

パンダのためのお風呂屋さん。ここで、パンダの
ひみつが明らかに…！？

『パンダくんのおにぎり』

いしかわ こうじ／作・絵 PHP研究所

やま
山のとっぺんでおにぎりを食べようとしたパンダくん。
おにぎりころがしちゃった！

『いちにちパンダ』

くさか みなこ／え 小学館

にんきもの
人気者のパンダが風邪をひいて、大ピンチの動物園！
パンダの代わりになったのは…



しょうかいします
こんな本 No.40

ごちそうたくさん！

レストランの えほん

『じゃがいもレストランへいらっしやい』

山中 桃子／画 DINO BOX

おばあさんの作る、日替わりじゃがいも料理を食べると、
元気になって、心まで軽くなります。

『レストランかもめ』

南本 樹／作 教育画劇

今日は、海辺の小さなレストランの開店日。

最初のお客さんはカモメでした。

『しあわせなワニくんかんちがいレストラン』

はた こうしろう／絵 ポプラ社

デートをことわられて、しょんぼりのワニくん。町で
出会ったおばあさんと食事をしにいくことに…

『峠の狸レストラン』

黒田 征太郎／絵 アートン

山の中のイタリア料理レストラン、よう見たら「イ リア」。
「タ」が抜けとるで！

『かまくらレストラン』

真珠 まりこ／さく・え 教育画劇

雪の降る間だけ開いているレストラン。おばあさんの
作るおしるこで、心も体もぽっかぽか。



しょうかいします
こんな本 No.41

ピカッとあかるい

でんきのえほん

『でんきのビリビリ』

こしだ ミカ／さく・え そうえん社

「ビリビリくるからさわったらあかん！」ってお父^{とう}さんは
いうけど、電^{でん}気^きはどこから来^くるのかな？

『わたしのひかり』

モリー・バング／作 評論社

町^{まち}のあかりも、もともとは太陽^{たいよう}の光^{ひかり}なのです。

エネ^{かん}ルギーを考^{かんが}える本^{ほん}。

『風^{かぜ}をつかまえたウィリアム』

エリザバス・ズーノン／絵 さ・え・ら書房

電^{でん}気^きのない村^{むら}の暮^くらしを救^{すく}うために、ウィリアムは
勉^{べん}強^{きやう}して、風^{ふう}車^{しゃ}の発^{はつ}電^{でん}機^きを作^{つく}りました。

『あかりをけして』

アーサー・ガイサート／作 BL出版

8時^じになったら、あかりを消^けさなきゃいけないの…
暗^{くら}くて怖^{こわ}いののに。

『おほしさま、きえちゃった』

ハンナ・カミング／さく コスモピア

夜^{よる}の町^{まち}の電^{でん}気^きが突^{とつ}然^{ぜん}切^きれたとき、みんなは、お星^{ほし}さまが
いなくなっていたことに気^きづいたんだ。



しょうかいします
こんな本 No.42

ゆっくり、のんびり...

かたつむりの えほん

『どこにいるの？かたつむり』

トミー・ウンゲラー／作 長崎出版

かたつむりは、どんな形？かたつむりに似た形は
たくさんあるよ。

『かたつむりハウス』

ジリアン・タイラー／え 評論社

豆みたいに小さくなった三人きょうだいが、
かたつむりハウスをみつけたんだって。

『すたすたかたつむり』

あきやま ただし／作・絵 岩崎書店

かたつむりってゆっくり歩くんじゃないの！？
ぼんやりしていたら、かたつむりに追い越されるよ！

『ツムーリのおうち』

とりごえ まり／著 佼成出版社

エールくんの新しいおうちがうらやましいツムーリ。
おそろいのおうちを作ってもらったけど...

『せかいいちおおきなうち』

レオ・レオニ／作 好学社

世界一大きなうちがほしいちびかたつむり。
体を動かして、大きくなる方法を発見しました。



しょうかいします
こんな本 No.43

ほんとうにいた
かがくしゃ
科学者のえほん

とり み しょうねん
『鳥に魅せられた少年』

メリッサ・スウィート／さし絵 小峰書店

ことり ふゆ い わた どり
小鳥は冬になるとどこへ行くのだろうか？ 渡り鳥を
けんきゅう ちょうるいけんきゅうか ものがたり
研究した、鳥類研究家オーデュボンの物語。

『グレゴール・メンデル』

ジョス・A. スミス／絵 BL出版

まず く なか いっしょうけんめいべんきょう まめ じっけん
貧しい暮らしの中で、一生懸命勉強をして、豆の実験
いでん ほうそく はっけん
で遺伝の法則を発見しました。

せいめい き
『生命の樹』

ピーター・シス／文・絵 徳間書店

がっこうきら しょうねん ちょうさせん
学校嫌いの少年だったチャールズは、調査船で
だいこうかい しんかろん しょうがい
大航海へ！「進化論」のダーウィンの生涯。

ほし ししや
『星の使者』

ピーター・シス／文・絵 徳間書店

ちきゅう うちゅう ちゅうしん かんが じだい
地球が宇宙の中心と考えられていた時代。ガリレオ・
ガリレイは信念を貫いて「地動説」を唱えた。

かせき しょうじょ
『化石をみつけた少女』

キャサリン・ブライトン／さく 評論社

かせき ほ だ せいぶつ ねっしん しら
化石として掘り出した生物のことを熱心に調べ、やがて
かせきがくしゃ はなし
化石学者になったメアリー・アニングのお話。



しょうかいします
こんな本 No.44

しまもようのやさい スイカのえほん

『すいかのたび』

高畠 純／作 絵本館

ゆらゆらと海^{うみ}を旅^{たび}するスイカ。つぎつぎと何^{なに}かに
であいながら、旅^{たび}はつづきます。

『すいかのたね』

さとう わきこ／さく・え 福音館書店

おいしいすいかがなるように、ばばあちゃんは、
ていねい^{たね}に種^うを植えました。

『だめだめすいか』

白土 あつこ／作・絵 ひさかたチャイルド

すいか割^わりしようって、たぬきがさそってくるんだ。
だめだめ、これはじいちゃんのすいかなんだ！

『おおきなスイカ』

庄野 ナホコ／作 講談社

ネコのルッキオとフリフリは、マグロ^たが食べたいのに、
見^みつけたのは大^{おお}きなスイカでした。

『すいかのめいさんち』

平田 景／絵 鈴木出版

ぼくが住^すんでいる町^{まち}では、すいかがたくさんとれる
んだ。みんなで食^たべたいな。



しょうかいします
こんな本 No.45

せかいがかわる？

さかさまのえほん

『さかさまつり』

つきおか ゆみこ／著 佼成出版社

よってらっしゃい、みてらっしゃい。今日は何もかも
さかさまの、さかさまつりだよ！

『さかさま』

安野 光雅／さく・え 福音館書店

上か下か、表か裏か？どっちがどっちかわからない、
不思議な錯視の絵本。

『さかさのこもりくん』

あきやま ただし／作・絵 教育画劇

こもりのこもりくんは、思ったのと反対のことを
いってしまいます。お友達、できるのかな？

『さかさまさかさ』

ピーター・ニューエル／作 亜紀書房

本を上にしたたり、下にしたたり。一つの絵で二つの物語が
楽しめます。

『さかさまライオン』

長 新太／絵 童心社

ライオンとその「かげ」の立場が逆転して、やること
なすこと、さかさまになった！



しょうかいします
こんな本 No.46

ハラハラ、ドキドキ！

ぼうけんのえほん

『リンドバーク』

トーベン・クールマン／作 ブロンズ新社

なかま さが 仲間を探すために、アメリカへ渡るんだ…飛行機を
はつめい ゆうかん 発明した勇敢なネズミは、ついに飛んだ！

『マゼランの航海』

ピエロ・ベントウーラ／絵 評論社

はじ ふね せかい いっしゅう はた いちだん くろう
初めて船で世界一周を果たしたマゼランの一団の苦勞が
えが 描かれています。

『シンドバッドの冒険』

ルドミラ・ゼーマン／文・絵 岩波書店

せかい せつわしゅう
イスラム世界の説話集『アラビアン・ナイト』から、
ふなの 船乗りシンドバッドのお話。

『牛をかぶったカメラマン』

レベッカ・ボンド／作 光村教育図書

とり しゃしん 鳥の写真をとるためだけに、木の幹にかくれたり、
かわ なか はい 川の中に入ったり。キーアトン兄弟の物語。

『太陽の神殿』

エルジェ／作 福音館書店

うみ わた ゆきやま い 海を渡り、雪山を行き、ジャングルを進み、王国へたどり
ついた！「タンタンの冒険」シリーズ、南米編。



しょうかいします
こんな本 No.47

こころぼそいな…

まいごのえほん

『ちょっとだけまいご』

クリス・ホートン／作 BL出版

ちびフクロウが巣から落ちて、まいごになっちゃった！
…ぼくのママはどこ？

『まいごのマイロ』

大島 妙子／作 あかね書房

7匹の子犬のきょうだいの初めての散歩。小さい
マイロは、みんなからはぐれてしまって…

『ちびうさまいご！』

ハリー・ホース／作 光村教育図書

ぼくは、もう大きいんだから、おにいちゃんたちみたいに
ジェットコースターに乗るんだ！

『ハッピーとラッキーのどうぶつえん』

ももろ／さく・え 教育画劇

ハッピーとラッキーは、ちほちゃんの大事なぬいぐるみ。
リュックに入って動物園にやってきました。

『ぼくはまいごじゃない』

シゲリ カツヒコ／絵 岩崎書店

ショッピングセンターでトイレに行った間に、
お兄ちゃんたちが迷子になっちゃった！



しょうかいします
こんな本 No.48

なーんにもしない…

ぐうたら^のえほん

『ものくさ^{たろう}太郎』

林 潤一／絵 「京の絵本」刊行委員会

はたら 働かない、なんにもしない、ものくさ^{たろう}太郎とよばれる
おとこ 男が、都へ行くことになった。

『たなからぼたもち』

澤野 秋文／絵 廣済堂あかつき

か し や お菓子屋のぐうたら息子^{むすこ}は、「たなからぼたもち」
ほんとう なんて本当にあるか、ため 試すことにしました。

『みつつのねがい』

ピレット・ラウド／再話・絵 福音館書店

なまけもの^{ふうふ}の夫婦は、けんかばかり。ある日、一人^{ひひとり}の
おじいさんが^{あらわ}現れて…エストニアの^{むかしばなし}昔話。

『ぐうたら^{どう}道をはじめます』

大西 ひろみ／絵 BL出版

ソファでねていると、白い猫^{しろねこ}があらわれて「ぐうたら^{どう}道」を
おし 教えてくれるというんだけど…

『三^{さん}ねんねたろう』

わたなべ さぶろう／え ポプラ社

ひゃくしょう わかもの 百姓の若者ねたろうは、年^{ねん}がら年^{ねん}じゅう寝^ねてばかり。
そうしている^{あいだ}間に、三年と三月^{さんねん みつき}がたった。



しょうかいします
こんな本 No.49

どこへいくのか

たびのえほん

たび えほん 『旅の絵本』

安野 光雅／著 福音館書店

ふね きし つ たびびと うま の むら まち めぐ
舟で岸に着いた旅人は、馬に乗り、村や町を巡ります。
じ たび ふうけい えほん
字がない、旅する風景の絵本。

せかいりょこう 『ぐっすりメーメさんの世界旅行』

マウリ・クナス／作 猫の言葉社

ねむ よる さんぽ
眠ったまま、夜のお散歩をするメーメさん。

び せかいりょこう あ
デパートのくじ引きで世界旅行が当たったんです！

『エマのたび』

クレール・フロツサール／文・絵 福音館書店

ことり
小鳥のエマはニューヨークからパリをめざして、^{しんせき}親戚
さがしの旅へ。^{たび え しゃしん がったい えほん}絵と写真が合体した絵本。

『くんちゃんのだいいりょこう』

ドロシー・マリノ／文／絵 岩波書店

こぐまのくんちゃんは、^{みなみ わた とり}南へ渡る鳥たちをみて、^{たび}旅に
でたくなりました。^{ちい いっぽ はなし}小さな一歩をふみだすお話。

『キムのふしぎなかさのたび』

カーリン・スレーン／絵 徳間書店

^{あめ}こんな雨の日には、^{ふね}かさを舟にして^{たび}旅に^で出よう！



しょうかいします
こんな本 No.50

うえから、したから…

さかさことば

『さかさことばでうんどうかい』

西村 敏雄／作 福音館書店

どうぶつ うんどうかい した よ
動物たちの運動会、下から読んでも、もりあがるよ！

『サカサかぞくのだんながなんだ』

宮西 達也／作 ほるぷ出版

かぞく
なかよしの家族だって、けんかをするんです。

いえで かえ
家出したママは帰ってくるの！？

『オカのカオ』

谷川 晃一／作 童心社

オカノカオってどんな顔…？おしまいまでいったら
じょうげ かお いちど よ
上下さかさまにして、もう一度読んでみよう！

『よるくまくるよ』

藤枝 リュウジ／絵 BL出版

みじか ぶん なが ぶん え み
短い文も、長い文も、絵を見てなっとく！

『さかさことばのえほん』

高部 晴市／絵 鈴木出版

へいあんじ だい
さかさことばは、平安時代からある言葉あそびです。

わふう えがら たの えほん
和風の絵柄も楽しめる絵本。



しょうかいします
こんな本 No.51

チリンチリーン、
ちょういしい！

じてんしゃのえほん

『じてんしゃにのろう』

田中 六大／絵 講談社

じてんしゃの
自転車に乗るとちょっと遠くまでいけます。この本で
じてんしゃの
自転車の乗りかたや歴史もわかるよ。

『ローズ色の自転車』

ジャンヌ・アシュベ／作 光村教育図書

ローズは幸せの色。悲しい顔をした女の子に
ローズ色に塗った自転車をあげよう。

『じてんしゃにのるアヒルくん』

デイヴィッド・シャノン／さく 評論社

ある日アヒルは思いつきました。
「じてんしゃにのってみようっと！」

『チリとチリリちかのおはなし』

どい かや／作 アリス館

地下の貯蔵庫で物音が。チリとチリリは追いかけます。
いつも自転車で乗って行く二人のシリーズ。

『ロッタちゃんとしてんしゃ』

ヴィークランド／え 偕成社

末っ子のロッタちゃんは、お兄ちゃん、お姉ちゃんと
同じように自転車で乗りたいのですが…



しょうかいします
こんな本 No.52

こわいこわーい…？

やまんばのえほん

『うまかたやまんば』

赤羽 末吉／画 福音館書店

やまんばに^{うま}馬を^く食われて^に逃げた^{うまかた}馬方は、^{やま}山の中の^{なか}家に^{いえ}
^{まよ}迷い^こ込んだ。

『やまんばあかちゃん』

大島 妙子／絵 理論社

^{あか}赤ちゃんが、オギヤーと^{いわ}岩から^う生まれたよ。

『やまんばのにしき』

せがわ やすお／え ポプラ社

もちついて持^もっていないと、やまんばに
食^くい^{ころ}殺される～！

『まゆとおに』

降矢 なな／絵 福音館書店

やまんばの^{むすめ}娘まゆは、おなかがすいた^{おに}鬼と^であ^あ会ったから
たいへん！まゆは^た食べられちゃうの？！

『さんまいのおふだ』

梶山 俊夫／画 福音館書店

^{やま}山で^{まいご}迷子になった^{こぞう}小僧さん。^{しんせつ}親切なおばあさんが
^{いえ}家に^と泊めてくれたのだけど…。



しょうかいします
こんな本 No.53

わあ～！びっくり！

おおきい！のえほん

『きよだいなきよだいな』

降矢 なな／絵 福音館書店

の はら きよだい
野原には、巨大なピアノ。そこへ100人の子^{にん こ}どもが
やってきたら？言葉^{ことば}のリズムが楽しい^{たの ほん}本。

『このよでいちばん大きな男の子』

クオン ジェリヨン／え 少年写真新聞社

キルサンはふつうの赤^{あか}ちゃんとあまりにも違^{ちが}う。
みるみるうちに、ぐんぐん大きくなって…

『だいおういかのいかたろう』

ザ・キャビンカンパニー／作・絵 鈴木出版

みずうみ こお と こ
湖^{みずうみ}が凍^{こお}って閉^とじ込^こめられてしまった いかたろう！
どうしたら、助^{たす}けてあげられるかな？

『まいごのワンちゃんあずかってます』

アダム・ストーワー／作 小学館

ちやいろ み
茶色^{ちやいろ}くてもこもこしたものを^み見つけた！
リリーがずっとほしかったものです。

『おおきなかぶ』

佐藤 忠良／画 福音館書店

おじいさんが大切^{たいせつ}に育てた^{そだ}かぶは、とてつもなく
おお 大きくなりました。



しょうかいします
こんな本 No.54

ちょっとひとやすみ…

いすのえほん

『ぼくのイスなのに！』

ロス・コリンズ／作・絵 PHP研究所

シロクマがぼくのイスにすわってるなんて、
がまんできないよ！

『くまさんのいす』

西巻 茅子／絵 講談社

くまさんは ^{あた}新しい ^い椅子 ^{つく}を作ろうと、^{もり}森 ^きの木 ^きを切りたおそう
としますが…

『かあさんのいす』

ベラ B. ウィリアムズ／作・絵 あかね書房

びんに貯^ためているお金^{かね}がいっぱいになったら、世界^{せかい}一^{いち}
すてきな椅子^{いす}を^か買いにいくのよ。

『ワニくんのイス』

みやざき ひろかず／さく・え BL出版

できた！気持^きちの良^よい^いぼくの椅子^{いす}。でも、誰^{だれ}かが
すわりにきて、ぼくは^{ぜんぜん}全然すわれないよ～

『どうぞのいす』

柿本 幸造／絵 ひさかたチャイルド

誰^{だれ}でもすわっていい親切^{しんせつ}な椅子^{いす}。ロバさんは、どんぐりを
入^いれたカゴ^おを置^おき、お昼寝^{ひるね}をしました。



しょうかいします
こんな本 No.55

むかしむかしに生きていた

きょうりゅうの えほん

『きょうりゅうどーん』

広瀬 克也／作 絵本館

まち うみ きょうりゅう げんき
町でも、海でも、ジャングルでも… 恐 竜 たちが元気に
うご
動きまわるよ！

『ジョンがきょうりゅうになったひ』

ショウジ サダム／え ひさかたチャイルド

いぬ よわむし きょうりゅう
ぼくんちの犬、弱虫ジョンが、恐 竜 になっちゃった！

『きょうりゅうたち』

アーノルド・ローベル／絵 文化出版局

いま おくねんいじょうまえ ちきゅう うえ ほん
今から2億年以上前、地球の上にはこの本にのっている
きょうりゅう す
ような 恐 竜 たちが住んでいました。

『きょうりゅうオーディション』

たしろ ちさと／作 小学館

げきだん
きょうりゅう 劇団のオーディションにようこそ！
とく い
あなたの得意なことはなんですか？

『きょうりゅうたちのいただきます』

マーク・ティーン／絵 小峰書店

じ か ん きょうりゅう
さあ、ごはんの時間です。恐 竜 たちはどんなふう
しているのかな？



しょうかいします
こんな本 No. 56

たべてめでたい

おせちりょうりの えほん

『十二支のお節料理』

川端 誠／作 BL出版

ね うし とら ことし じゅうにし どうぶつ
子、丑、寅…今年も十二支の動物たちが
ちから あ せちりょうり つく
力を合わせてお節料理を作ります。

『おばあちゃんのおせち』

野村 たかあき／作・絵 佼成出版社

こうれい ことし
恒例のおばあちゃんのおせち。今年は、きりちゃんも
てつだ
お手伝いしたんです！

『おせちいっかのおしょうがつ』

わたなべ あや／作 佼成出版社

じゅうばこ いっか おおみそか よる
重箱につめられたおせち一家。大晦日の夜、こっそり
はつもうで む
ぬけだして、初詣に向かいます。

『おばあちゃんのくりきんとん』

山中 桃子／さく 長崎出版

くり きんいろ
おばあちゃんの栗きんとんはキラキラ金色。ぼくも
すこ おお つく かた なら
もう少し大きくなったら作り方を習うんだ。

『おせちのおしょうがつ』

吉田 朋子／絵 世界文化社

りょうり いえ あそ
おせち料理がみんなでかがみもちの家に遊びにいきます。
りょうり
おめでたい料理がせいぞろい！



しょうかいします
こんな本 No.57

みずがかたまと…

こおりのえほん

『かわうそ3きょうだいのふゆのあさ』

あべ 弘士／作 小峰書店

かわうその3きょうだいが、こおった ^{みずうみ}湖 ^{なか}の中で
^{で あ}出会ったものは…？

『こおりのなみだ』

ジャッキー・モリス／さく 岩崎書店

クマとして生まれ人間として育てられた ^う男 ^{にんげん}の子 ^{そだ}の物語。
^{にんげん}クマも人間も ^{あいじょう}愛情 ^{おな}は同じです。

『しもばしら』

野坂 勇作／さく 福音館書店

おばあちゃんと一緒に ^{いっしょ}大根 ^{だいこん}畑 ^{ばたけ}にいくと、^{あし}足もとから
^{ふ し ぎ}不思議な音 ^{おと}がきこえてきました。

『じっちょりんのふゆのみち』

かとう あじゅ／作 文溪堂

^{ふゆ}冬の朝、^{あさ}じっちょりん ^{かぞく}家族 ^{ある}が歩いていくと、^{つち}土 ^{なか}の中から
^{こおり}氷 ^{はしら}の柱 ^{はしら}がによきによきのびていました。

『氷の海とアザラシのランプ』

バス・クロムス／絵 BL出版

^{ほっきょくたんけんたい}北極探検隊をのせた ^{ふね}船 ^{こおり}が氷 ^{うみ}の海 ^とに閉じ込められた！
^{ほんとう}本当にあった ^{こおり}氷 ^{せかい}の世界 ^{はなし}の話。



しょうかいします
こんな本 No.58

あまくてとろ〜り
チョコレートの
えほん

『チョコたろう』

青山 友美／え 童心社

チョコからうまれたチョコたろう。

あま〜いチョコでみんなを笑顔にします。

『おさるのジョージチョコレートこうじょうへいく』

M.レイ／原作 岩波書店

チョコレート好きのジョージは、チョコレート工場の中に
入ってみたいとたまりません！

『チョコレートがおいしいわけ』

はんだ のどか／作 アリス館

とろ〜りあまくて、おいしいチョコレートは、
どうやってできるのでしょうか。

『こねこのチョコレート』

大社 玲子／絵 こぐま社

弟 のために、こねこの形をしたチョコを買った
ジェニー。チョコのことばかりが気になって…

『チョコのたね』

Goma／作・絵 フレーベル館

きつねとねずみのパン屋さん、いろんなチョコレートの
パンを考え出します。レシピつき。



しょうかいします
こんな本 No.59

かぞえてみよう！

かずのえほん

『1はゴリラ』

アンソニー・ブラウン／作 岩波書店

さる なかま ふ
猿の仲間がだんだん増えていく。そして、最後はヒト。
さいご
ヒトのぼくも仲間なんだね。

『1つぶのおこめ』

デミ／作 光村教育図書

かしこいラーニは、王さまのごほうびに、はじめは
おう
お米を一粒だけいただきました。
こめ ひとつぶ

『ウラパン・オコサ』

谷川 晃一／作 童心社

1は「ウラパン」2は「オコサ」。ウラパンとオコサだけで
もの かぞ
いろんな物を数えてみよう！

『いちのかたつむり、じゅうはかに』

R. セシル／え 評論社

1はかたつむり、2は人間。生き物の足で数える、数の
えほん
絵本。

『ライフタイム』

クリストファー・サイラス／え ポプラ社

この本に出てくるのは、生き物の一生に関係ある、
ほん で い もの いっしょう かんけい
さまざまな数字です。
すうじ



しょうかいします
こんな本 No.60

あたらしいせいかつ
ひっこしのえほん

『おばあさんのひっこし』

エドナ・ベッカー／作 福音館書店

おばあさんは、^{なが}長い^{あいだ}間^す住んで^{ふる}すっかり古ぼけて
しまったお家から、^{うち}引っ越^ひすこと^こにしました。

『エルヴィンのひっこし』

ダニエラ・クーロット＝フリッシュ／さく 評論社

もぐらのエルヴィン、ひとりになりたいから
^ひ引っ越^こしするんだって。

『くすのきだんちへおひっこし』

末崎 茂樹／絵 ひかりのくに

かえるさんが^ひ引^こ越してきました。^{だんち}団地のみんなは、
とても^{しんせつ}親切。くすのきだんちシリーズ。

『ちいさなおひっこし』

こみね ゆら／作 偕成社

^{にん}4人^{びき}と1匹^{ちい}が住む、^{いえ}小さいけれど^{かん}すてきな家。
なんだか、だんだんきゅうくつに感じて…

『おうさまのおひっこし』

牡丹 靖佳／作 福音館書店

もっと^{おお}大きな城^{しろ}に^ひ引^こ越すことにしよう！^{にぐるま}荷車の
^{ぎょうれつ}行列^{つづ}がパレードみたいに^{つづ}続いていきます。



しょうかいします
こんな本 No.61

さくら、さくら…

おはなみのえほん

『こぶたのブルトン はるはおはなみ』

市居 みか／絵 アリス館

たかさきやままでお花見に。途中の道には楽しいお店が
いっぱい！お客さんもいっぱい！

『またあえるよね』

こみね ゆら／絵 教育画劇

桜が満開の公園で、かなとさつきちゃんは、仲良く
おにぎりを分けたり、遊んだりしました。

『ほわほわさくら』

きうち たつろう／え くもん出版

ほわほわ、くるくる、さらんさらん…桜のはなびらは
どこまで飛んでいくのかな。

『おはなみ』

まるやま あやこ／え あかね書房

たくさんの人がきれいなお花を見えています。
サクラの花だって私たちのことを見ているよ。

『春の主演 桜』

早川 司寿乃／絵 理論社

桜のことを色々知ると、お花見に出かけたくくなります。
優しい色合いの美しい絵本。



しょうかいします
こんな本 No.62

ぼくのわたしの
がっこうのえほん

『がっこうだってどきどきしてる』

クリスチャン・ロビンソン／絵 WAVE出版

あた新しい建物は学校になりました。しんが新学期になって、
こたくさんの子どもたちがやってきました。

『ふつうに学校にいくふつうの日』

きたむら さとし／絵 小峰書店

き今日もふつうの学校でふつうの一日をおくると思ったら、
せんせいふつうじゃない先生がやってきたよ。

『1ねん1くみの1にち』

川島 敏生／写真・文 アリス館

ここは ねん1年 くみ1組の教室。一日の様子を追いかけた
しゃしんえほん写真絵本。

きょうしつ
『教室はまちがうところだ』

長谷川 知子／絵 子どもの未来社

まちがったって、わら笑ったり、ばかにしたり、おこったり、
きょうしつぼくらの教室にはそんな者はおりゃせんよ！

『がっこういこうぜ！』

山本 孝／絵 岩崎書店

けんご、げんき元気そうじゃないか、がっこう学校いこうぜ。
きょう今日も休むのかよ？



しょうかいします
こんな本 No.63

あしもとにひろがるせかい

ちかのえほん

『みみずん』

かべや ふよう／作・絵 フレーベル館

つち なか むら な か ま た す あ
土の中にはみみず村があって、仲間で助け合いながら
く
暮らしています。

『地球をほる』

川端 誠／作 BL出版

つよしとけんたは旅行にいくことにした。地面に穴を
ほ ちきゅう うらがわ
掘って地球の裏側にいってみるぞ。

『どうするどうするあなのなか』

高畠 純／絵 福音館書店

びき ひき あな お
3匹のねずみと2匹のやまねこが穴に落ちたよ！
ふか で
深くて出られないよ！さあ、どうする？

『トンネルをほる』

エドワード・ミラー／絵 ほるぷ出版

モグラはトンネルをほります。プレーリードッグもアリも…
そして、人間も！
にんげん

『ブルオはいぬごやのした』

山西 ゲンイチ／作・絵 岩崎書店

ブルオの犬小屋の中にボールが入っちゃった！
ブルオはいつも、怖い顔で吠えるんだ。
いぬ ご や はい
こわ かお ほ



しょうかいします
こんな本 No.64

コロコロ、ころがる

だんごむしの えほん

『ぼく、だんごむし』

たかはし きよし／え 福音館書店

まんまるいぼくは、ボールじゃないよ。ぼくの不思議な
くらしを^み見てね。

『だんごむしうみへいく』

松岡 達英／作 小学館

^{うみ}海にはだんごむしの^{なかま}仲間がたくさん^す住んでいるんだよ！

『ダンゴムシのコロリンコくん』

カズコ・G. ストーン／文・絵 岩波書店

しめっぽいところが^{だいす}大好きな、コロコロファミリーの
^{たの}楽しい毎日と一年のお話。^{まいにち}^{いちねん}^{はなし}

『だんごむしのダディダンダン』

沢野 ひとし／絵 福音館書店

^こ子どもがたくさんダディダンダン。ころがしながら
^{こも}子守りです。

『ころちゃんのだんごむし』

高家 博成, 仲川 道子／さく 童心社

ぼくはころちゃん。お兄ちゃん、お姉ちゃんたちと
^{さんぽ}みんなで散歩に出かけるよ。^で



しょうかいします
こんな本 No.65

まんまる、みどりの キャベツのえほん

『キャベツがたべたいのです』

シゲタ サヤカ／作・絵 教育画劇

チョウチョになっても忘れられないあの味！そう、
ぼくらはキャベツが食べたいだけなのです！

『キャベツくん』

長 新太／文・絵 文研出版

キャベツくんがブタヤマさんにつかまりました。
「ぼくをたべると、キャベツになるよ！」

『ゆうこのキャベツぼうし』

やまわき ゆりこ／さく・え 福音館書店

はたけのおばさんが大きなキャベツをくれました。一枚
はがして、ぼうしのかわりにかぶりました。

『9ひきのうさぎ』

せな けいこ／作・絵 ポプラ社

9匹のうさぎがやってきた！たろうちゃんの畑に
やってきた！

『キャベツ姫』

エロール・ル・カイン／作 ほるぷ出版

言葉の呪いで野菜になってしまった者たち。王子が
姫を探し出せば、呪いはとかれるであろう。



しょうかいします
こんな本 No.66

りゆうはいろいろ
いえでのえほん

『きいのいえで』

種村 有希子／作 講談社

ふたごのきょうだいのきい。おかあさんにしかられて
泣^ないてる。家出^{いえで}するんだって、どうしよう。

『フランスのいえで』

リリアン・ホーバン／え 好学社

このごろ、お家ではいろんなことが思^{おも}うように
い^{いえで}かなくなつたから、家出^{いえで}するの。

『いえでだぶヒブヒ』

柳生 まち子／作 福音館書店

とうとう、お母^{かあ}さんにおこられた！こぶたの3兄^{きょうだい}弟^{だい}は
家出^{いえで}することにしました。

『いえでをしたくなつたので』

ドリス・バーン／絵 ほるぷ出版

家出^{いえで}をしたくなつたので、きょうだいみんなで荷物^{にもつ}を
まとめてひっこした。

『あたしいえでしたことあるよ』

かベや ふよう／絵 あすなろ書房

家出^{いえで}なんてぜーんぜんこわくないよ。だってあたし、
家出^{いえで}したことあるんだもん。



しょうかいします
こんな本 No.67

あめでもはれでも
かさのえほん

『ちいさなきいろいかさ』

にしまき かやこ／イラスト 金の星社

なっちゃんあたの新しいかさ傘。うさぎさん、りすくん、
お入はいりなさい。みんな一いっしょ緒に入はいれないかな。

『かさの女王じょおうさま』

ユ テウン／絵 セーラー出版

かさえの絵つけをゆるされたヌットは、本ほん当にかきえたい絵を
心こころをこめてかきました。タイのお話はなし。

『かさ』

太田 大八／作・絵 文研出版

あめ 雨ふりのおむかえにでかける女おんなの子この気き持もちが伝つたわる
え 絵だけの絵本えほん。

『ヨンイのビニールがさ』

キム ジェホン／絵 岩崎書店

かんこく しょうがくせい 韓国かんこくの小学生しょうがくせいヨンイは、道みちばたに座すわっている物ものごいの
おじさんを見みかけました。

『かさどろぼう』

シビル・ウェッタシンハ／作・絵 徳間書店

まち はじ 街で初はじめて傘かさを見みたおじさん。「なんてきれいで、
便べん利りなものだろう」と買かって帰かえりましたが…



しょうかいします
こんな本 No.68

まいにちあたらしい

あさのえほん

『どんないちにち』

たしろ ちさと／絵 廣済堂あかつき

^{きょう}今日はだれがいちばんに「おはよう。」っていうのかな？

^{まちじゅう}街中に、にっこりがひろがります。

『あさになったのでまどをあけますよ』

荒井 良二／著 偕成社

どこにも朝は^{あさ}やってきます。窓を開けて^{まど}みてみましょう。

きみのまちは^は晴れているかな？

『よあけ』

ユリー・シュルヴィッツ／作・画 福音館書店

^{しず}静かに^あ明けていく、^{はや}早い朝^{あさ}の^{ふうけい}風景です。

『なつのあさ』

谷内 こうた／文・画 至光社

^{あさ}朝いちばんの、いつものあの^{おと}音を^き聞きに。

いそげ、いそげ、まにあうかな？

『14ひきのあさごはん』

いわむら かずお／作 童心社

^{あさお}朝起きたら、^{かお}顔を^{あら}洗って、きょうだい^{もり}みんなで森に

^{あさ}朝ごはんの^{ざいりょう}材料をとり^はにいきます。



しょうかいします
こんな本 No.69

つるつるっとおいしい

うどんのえほん

『きつねうどんたぬきうどん』

古内 ヨシ／さく 大日本図書

うどんが大好きなきつね^{だいす}くんとたぬきくん。きつね、
たぬき、どっちのうどんがいちばんおいしい？

『うどんのうーやん』

岡田 よしたか／さく ブロンズ新社

うーやん、出前^{でまえ}や。たのむでー。うどんも自分^{じぶん}で出前^{でまえ}に
いかなあかんです。

『うどんはどこからきたの？』

せべ まさゆき／絵 金の星社

うどんは何^{なに}からできているの？カレーうどんを
うどんから作^{つく}ってみよう！楽しい食育^{たの}の絵本^{しょくいく えほん}。

『うどんドンドコ』

山崎 克己／作 BL出版

夜中^{よなか}にあらわれたうどんかいじん。ご注文^{ちゅうもん}のうどんを
とどけます。ぼくはカレーうどんだ！

『うどん^{たい}対ラーメン』

田中 六大／作 講談社

うどんとラーメンどちらがおいしいのか！？

つるつる^{こうえん}つる公園^{たいけつ}で対決だ！



しょうかいします
こんな本 No.70

あんなふうにとべたら

とりのえほん

『とりになったはっぱのはなし』

しのお すみこ／絵 ポプラ社

かみさま はじ
神様が初めておつくりになった山に、はっぱがはえて
きました。はっぱはぐんぐん空にのびて…

『とりのうた』

さこ ももみ／画 教育画劇

しんしん寒い冬を過ぎ、迎えた春はよろこびであふれて
います。詩と画が清々しい絵本。

『すばこ』

イ スンウォン／絵 ほるぷ出版

すばこ ひと とり いえ すばこ つく
巣箱は人が作った鳥の家です。巣箱を作って、
あなたの庭にも鳥をよんでみませんか。

『さあ、とんでごらん！』

サイモン・ジェームズ／さく 岩崎書店

ふゆ ちか みなみ くに む
冬が近づくと、あたたかい南の国へ向かうために、
ジョージも飛ぶ練習をします。

『とり』

ブライアン・ワイルドスミス／さく・え らくだ出版

いろいろな鳥の習性が美しく描かれています。



しょうかいします
こんな本 No.71

ヤッホーとこたえる

やまのえほん

『高尾山たかおさん きの木にあいにく』

陣崎 草子／絵 理論社

高尾山たかおさんは東京とうきょうの身近みぢかにある山やまです。山やまに入ると、初めてはじ
見るような植物しょくぶつや虫むしに出会えます。

『山やまびこくん』

たかはし ゆうじ／作 文芸社

「やっほー」といわれたら「やっほー」とこたえる。

それが山やまびこくんのお仕事しごとです。

『山やまのいのち』

伊勢 英子／絵 ポプラ社

山やまはしたたるほどの緑みどりだった。パパとママと離はなれて、
おじいちゃんすと過なつごした夏きの記憶おく。

『おじいちゃんやまの山』

稲田 善樹／絵 てらいんく

目めの見えないおじいちゃんみは、たったひとりで山やまの杉すぎを
守まもっています。ノンフィクション絵本えほん。

『おっちゃんやま山』

塚本 やすし／え 新日本出版社

山やま登のぼりでデロデロ虫むしにかまれてしまったおっちゃん。
体からだがだんだん大おおきくなってきて…！



しょうかいします
こんな本 No.72

おおきいぞ～！

くじらのえほん

『くいしんぼうのクジラ』

谷口 智則／作 あかね書房

おいら、「いただきます」は大好きで、「ごちそうさま」は
だいきら たい たい たい
大嫌い。食べて食べて食べまくるぞ！

『がんばれちびくじら』

スーザン・フィールド／え 評論社

たいへん はま べ あ
大変！くじらが浜辺に上がっちゃった！
みんなでくじらを たす
助けよう！

『くじらの歌^{うた}ごえ』

ゲイリー・ブライズ／絵 BL出版

むかし うみ
昔はね、海にはいっぱいくじらがいたのよ…
おばあさんは^{はな}リリーに話してくれました。

『クジラ^{たい}対シャチ』

高田 三郎／絵 新日本出版社

かいきょう とお おやこ
ユニマック海峡を通る親子のクジラをおそうシャチ！
はくりよく
迫力のあるノンフィクション。

『くじらのバース』

村上 康成／作 ひさかたチャイルド

ちい ちい みなみ しま く ことし
小さな小さな南の島で暮らすナリンは、今年も
クジラのバースに^{で あ}出会いました。



しょうかいします
こんな本 No.73

さぼってないけど
**ナマケモノの
えほん**

『ふたりのナマケモノ』

高畠 純／作・絵 講談社

けっしてなまけているのではありません。ゆっくりが
好きなのです。ナマケモノのある一日。

『ゆっくりゆっくりなまけものくん』

オームラ トモコ／作・絵 鈴木出版

たかーいたかーい木の上に住むなまけものくん。
ゆっくりゆっくりおりていくと…

『きちょうめんなまけもの』

村上 康成／絵 教育画劇

動物園のナマケモノ、木にへばりついてるだけにみえる
でしょ？ところが、動物園が閉まると…

『ゆっくりがいっぱい！』

エリック・カール／さく 偕成社

ゆっくり、のんびり、おっとり… それがぼくのやりかたさ。

『どうぶつたちのおやすみなさい』

デイヴィッド・ウォーカー／え 岩崎書店

動物の子どもたちも、おやすみなさいのあいさつを
するの？なまけものの子どもは…？



しょうかいします
こんな本 No.74

かぶってすてき

ぼうしのえほん

『まあすけのぼうし』

馬場 のぼる／作・絵 ポプラ社

なかなか自転車^{じてんしゃ}にうまく乗れないまあすけに、
おじさんが帽子^{ぼうし}をくれました。

『ぼくのたいせつなぼうし』

ヒド・ファン・ヘネヒテン／さく・え フレーベル館

たび とちゅう ぼうし
旅の途中で帽子をなくしたクルに、大切な帽子を
か
貸してあげたいんだけど…

『ミリーのすてきなぼうし』

きたむら さとし／作 BL出版

ぼうし や てんちょう
帽子屋の店長さんがみつけてくれた素敵^{すてき}な帽子。
そうぞう じゅう へんしん
想像^{そうぞう}しだいで自由^{じゅう}に変身^{へんしん}します。

『ぼうし』

長 新太／さく のら書店

どうぶつたちが帽子^{ぼうし}をかぶったら、どうなるでしょう。

『ぼうしのおうち』

エルサ・バスコフ／さく・え 福音館書店

こびとの一家がすんでいる変わ^かった家は、誰^{だれ}かが
わす
忘れていった帽子^{ぼうし}でした。



しょうかいします
こんな本 No.75

しろくてぷるん とうふのえほん

『おとうふちゃん』

わたなべ あや／作 学研

けさ
今朝のみそしるには、おとうふがない。おとうふちゃんたちは、みそしるのプールにあきたんだって。

『とうふこぞう』

せな けいこ／作 童心社

よわ
ばけものにしちゃあ弱いとうふこぞう、にんげん
つよ こぞう よ ともだち
強い小僧さん。良い友達になれそうだ。

『おとうふやさん』

飯野 まき／さく 福音館書店

とうふ や みせ うら み きかい
豆腐屋さんの店の裏には見たこともない機械がいっぱい。
だいず しろ とうふ
大豆がまっ白い豆腐になっていきます。

『とうふちゃん』

あだち とも／作 絵本館

とうふちゃーん、おなべしようよー。とうふちゃんは
どこへ行ってしまったのでしょうか？

『おとうふさんとこんにゃくさん』

にしまき かやこ／え 童心社

たな お みま
おとうふさんが棚から落ちた。こんにゃくさんがお見舞い
こえ だ よ えほん
にいくと…。声に出して読みたい絵本。



しょうかいします
こんな本 No.76

ざわざわ、がやがや

うるさい！の えほん

『やかましい！』

シムズ・タバック／絵 フレーベル館

いろ おと ねむ
色んな音がやかましくて眠れないおじいさん。

ものしり^{そうだん}はかせに相談にいきました。

『うるさいアパート』

ブライアン・ビッグズ／絵 あすなろ書房

うえ き なん おと
上から聞こえるのは何の音？ららら～、ぱっぷぷぷ、
ゴーゴー…ほんとううるさいんだから。

『にぎやかなほん！』

レナータ・リウスカ／絵 光村教育図書

この世にはたくさんの音がある。何の音か当ててごらん。

『ああうるさい』

マックス・ベルジュイス／文と絵 セーラー出版

ワニくんたら、毎日夢中^{まいにちむちゅう}でバイオリンの練習^{れんしゅう}。

となりのゾウさんはうるさくてたまらない！

『ガール・イン・レッド』

ロベルト・インノチェンティ／原案／絵 西村書店

あか そうおん いろ もり
赤いコートのソフィアは、騒音と色であふれる”森”をぬけ、

おばあさん^{いえ}の家へ。現代版あかずきん^{げんだいばん}。



しょうかいします
こんな本 No.77

あかくてまあるい

りんごのえほん

『りんごのき』

ヘレナ・ズマトリーコバー／え 福音館書店

ゆき ひ なに き は
雪の日には何もついていなかった木が、葉をつけ、
はな そだ
花をつけ、育っていきます。

『だるまちゃん・りんごんちゃん』

かこ さとし／さく 瑞雲舎

りんごん村には不思議なかわいりんごがたくさん。
りんごんまつりは楽しいもよおしがたくさん。

『りんごのえほん』

クリスティーナ・ディーグマン／え 偕成社

みんなりんごがだいすき。りんごのせいりがりんごの木の
いちねん しょうかい
一年を紹介しします。スウェーデンのえほん。

『モリくんのりんごカー』

かんベ あやこ／作 くもん出版

ゆき もり あか
雪できらきらがやいた森に、赤いりんごカーが
はしっていきます。

『エレンのりんごの木』

カタリーナ・クルースヴァル／さく 評論社

エレンのいえにわに自慢のりんごの木。
おおゆき たお
大雪で倒れてしまうなんて！



しょうかいします
こんな本 No.78

どんな人^{ひと}がえがいたの？
が か
画家のえほん

『アンリ・ルソー』

アマンダ・ホール／え 六耀社

アンリは「画家^{が か}になりたい」という夢^{ゆめ}をあきらめきれず、
仕事^{しごと}をしながら絵^えの修業^{しゅぎょう}をしました。

『おしえて、レンブラントさん』

マルティン・ファン・デル・リンデン／絵 BL出版

この絵^えの裏^{うら}にはどんな物語^{ものがたり}がかくされているの
でしょう？名画「夜警」から生まれた物語^{ものがたり}。

『シャガール』

ビンバ・ランドマン／文・絵 西村書店

ユダヤ教徒^{きょうと}は人物^{じんぶつ}を描^{えが}いてはならない…それでも彼^{かれ}は
描^{えが}かずにはいられなかったのです。

『ケイティとイギリスの画家^{が か}たち』

ジェイムズ・メイヒュー／作 サイエンティスト社

美術館^{びじゅつかん}でケイティは「麦^{むぎ}畑^{ばたけ}」という絵^えを気^きに入ります。絵^えの
中^{なかつ}の羊飼^{ひつじか}いの少年^{しょうねん}が飛^とび出^だして…

『フリーダ・カーロ』

アン・ジー・ファン／え 六耀社

病気^{びょうき}にも事故^{じこ}にも負けず、強^まく生き抜^{つよ}いたフリーダの絵^えは
見^みる人^{ひと}をはげまし続^{つづ}けます。



しょうかいします
こんな本 No.79

いちにちのおわり
**おやすみなさいの
えほん**

『スースーとネルネル』

荒井 良二／作 偕成社

スースーとネルネルはなかなか寝ない子どもたちです。
眠くなるまでお話を作ります。

『おやすみなさいフランス』

ガス・ウィリアムズ／え 福音館書店

お父さんとお母さんにおやすみなさいのキスをしたけど、
フランスはなかなか眠れません。

『ぜったいぜったいねるもんか！』

ニック・マランド／絵 ほるぷ出版

ねむっちゃうのはつまんない。オリバーは、ベッドを
ぬけだし、お絵かきや手品をしたり…

『おやすみおやすみみんなおやすみ』

かのう かりん／作・絵 金の星社

動物の子どもたちは、どんなふう^こにねるの？
み^みているうちに、つられてねちゃいそうな絵本。

『あと10ぱんでねるじかん』

ペギー・ラスマン／作・絵 徳間書店

ぼくはもう寝る時間だというのに、ハムスター一家が
やってきたよ！



しょうかいします
こんな本 No.80

モグモグ、むしゃむしゃ

たべるのえほん

『たべてあげる』

おおの こうへい／え 教育画劇

だいきら
大嫌いなピーマン。た
食べたくないな～と思ったら、おも
「たべてあげる」とちい おとこ こ
小さな男の子があらわれた！

『くさをはむ』

おくはら ゆめ／作 講談社

あさ ひる ばん
朝ごはんも、昼ごはんも、晩ごはんも…
かぞく しょくじ ふうけい
シマウマの家族の食事の風景です。

『しんでくれた』

塚本 やすし／絵 佼成出版社

にんげん ほか い もの
人間は他の生き物のおかげでいきている。その生き物の
ためにも、ぼくは生きるんだよ。

『ボクは、なんにもならない』

しんどう けいこ／絵 美術出版社

たいよう くさ くさ うし うし ぎゅうにゅう
太陽が草になり、草が牛になり、牛が牛乳になる。
そして、ぼくはなにになるのだろう。

『なにをたべてきたの？』

長野 博一／絵 佼成出版社

おなかがすいたしろぶたくん、きれいなりんごをた
食べた。
おや、なんだかいつもとちが
違うみたいだよ。



しょうかいします
こんな本 No.81

いちねんのおわり

おおみそかの えほん

『じょやのかね』

とうごう なりさ／さく 福音館書店

ぼくがちゃんと起きていられたら、パパにお寺に連れて
いってもらえる。除夜の鐘をつくんだよ。

『かさじぞう』

黒井 健／画 童心社

ある年の暮れのこと。かさつくりのじいは、売れ残った
かさを六じぞうさまにかぶせました。

『のんびりやのサンタクロース』

田中 六大／絵 あかね書房

クリスマスがとくに過ぎているのに、いったい
どこへ行くの？

『きょうとあしたのさかいめ』

渡辺 有一／絵 教育画劇

おおみそかには、早く寝ないでいいんだよね。
きょうとあしたのさかいがどうなってるか見るんだあ。

『マッチうりの女の子』

スベン・オットー／絵 童話館

おおみそかのごちそうのおいしそうなにおいがします。
それでも女の子は家に帰ることができません。



しょうかいします
こんな本 No.82

あたまにのってる

ちょんまげのえほん

『江戸の子どもちょんまげのひみつ』

菊地 ひと美／作 偕成社

ちょんまげ^{すがた}姿は大人^{おとな}のあかし。生まれてからちょんまげに
なるまでの様子^{ようす}がわかります。

『ちょんまげとのさま』

遠山 繁年／作・絵 鈴木出版

とびきり大きくてりっぱなちょんまげの^{とのさま}殿様は、
たいそういばっていました。

『ちょんまげとんだ』

広瀬 克也／絵 くもん出版

風^{かぜ}が吹いて、おすもうさんのちょんまげが^と飛んだ！
ちょんまげ、どこへ^い行く？！

『なんでやねん』

あおき ひろえ／絵 世界文化社

朝^{あさ}起きたら、ちょんまげ^は生えてた！！

『ものすごくながいちょんまげのとのさまと ものすごくながいおひげのおうさま』

石崎 なおこ／作・絵 教育画劇

ちょんまげ^{じまん}自慢の^{とのさま}殿様とおひげ^{じまん}自慢の^{おうさま}王様のくらべっこ！



しょうかいします
こんな本 No.83

ホカホカ、だいすき！

ホットケーキの えほん

『ホットケーキできあがり！』

エリック・カール／作 偕成社

ホットケーキをつくるには、まず、小麦粉こむぎこを用意よういしなくっちゃ。

『くうちゃんのホットケーキ 』

わたなべ ゆうこ／作・絵 ポプラ社

くうちゃんじぶんは、ホットケーキを自分でつく作れるんです…！

『ホットケーキのおうさま』

朝倉 世界一／絵 WAVE出版

たくさんのホットケーキたちが、われこそがおう王さまと、
魅力みりょくを競きそい合あいます。

『もしもこぶたにホットケーキをあげると』

フェリシア・ボンド／絵 岩崎書店

もしも、こぶたにホットケーキをあげると、
シロップもほしいっていうよね…

『ねずみくんとホットケーキ』

上野 紀子／絵 ポプラ社

料理りょうりじょうず上手な ねみちゃんつくが作ってくれるんだって！
みんなで食たべに行いこう。



しょうかいします
こんな本 No.84

ひはまたのぼる

いちにちのえほん

『12にんのいちにち』

杉田 比呂美／作 あすなろ書房

パン^や屋さん、看護^{かんごし}師さん、あかちゃん…？

いちにち^{いちにち}の^す過^{かた}ごし^{ひと}方は、人それぞれ。

『くうこうのいちにち』

インクリンク／絵 学研教育出版

くう^{くうこう}こうにはたくさんの人^{ひと}が訪^{おとず}れて、たくさんの人^{ひと}が

はたら^{はたら}いて…今日^{きょう}もいろいろなことがありました。

『1ねん1くみの1にち』

川島 敏生／写真・文 アリス館

ねん^{ねん} くみ^{くみ} きょうしつ^{きょうしつ} ひとり^{ひとり} ふたり^{ふたり} どうこう^{どうこう} あたら^{あたら} いちにち^{いちにち}
1年1組の教室。一人、二人と登校して、新しい一日が
はじ^{はじ}始まります。

『いちにちでいいから』

マルク・ブタヴァン／絵 フレーベル館

いちにち^{いちにち} だけ^{だけ} なに^{なに}にでもなれるとしたら、なに^{なに}になりたい？

『さいこうのいちにち』

トニー・ロス／絵 評論社

ちじょう^{ちじょう} いちにち^{いちにち} い^い
地上で一日だけ生きるカゲロウ。今日は、最初^{きょう}の日^{さいしょ}で、
さいご^{さいご} ひ^ひ
最後の日。



しょうかいします
こんな本 No.85

いなくなったら…

ゴミのえほん

『さあ、たべてやる！』

ジム・マクマラン／え 評論社

^た ^{もの} ^す ^た
食べ物は、みんなが捨てたゴミ。食べたら、ぎゅーっと
つぶす。おいらが^{だれ}誰かわかるかな？

『ごみじゃない！』

minchi／作・絵 PHP研究所

ごみみたいだけど、ごみじゃない。

みーん^{わたし}な^{たからもの}私の宝物だよ。

『やまからにげてきた・ゴミをぽいぽい』

田島 征三／作 童心社

^{にんげん} ^{べんり} ^{せいかつ} ^{どうぶつ} ^く ^{やま}
人間の便利な生活は、動物たちが暮らす山とつながって
いる…。^{ぜんご}前後、^よどちらからも^{ほん}読める本。

『スラムにひびくバイオリン』

サリー・ワーン・コンポート／絵 汐文社

^{やま} ^{うつく} ^{おんがく} ^う ^{がっき}
ゴミの山には美しい音楽が埋もれていた。ゴミを楽器に
^か変えた、リサイクル・オーケストラの^{はなし}話。

『にんげんごみばこ』

のぶみ／作 えほんの杜

^{ひと} ^{ひと}
いない人、きれいな人は、にんげんごみばこに
^す捨ててしまおう。



しょうかいします
こんな本 No.86

ぶんぶんぶん

みつばちのえほん

『ミツバチぎんのおくりもの』

おぐら ひろかず／絵 鈴木出版

ぎんのおと羽音はおじいさんのバイオリンにそっくり。

おじいさんとミツバチの心の交流の物語。

『はちみつ』

いせ ひでこ／絵 福音館書店

わたしのお父さんは養蜂家です。たくさんの蜜蜂を飼って
はちみつをとって暮らしています。

『みつばち ぴい』

和田 誠／絵 フレーベル館

はたらもの
働き者のみつばちたち。おや、ひとりだけなんにも
しないで、ねているみつばちがいますよ。

『みつばちみつひめ どどんとなつまつりの巻』

秋山 あゆ子／作 ブロンズ新社

こうきしんおうせい
好奇心旺盛な、みつひめさま。まちの夏まつりへくりだし
ました。

『しりたがりやのこいぬとみつばち』

ミレル／え 偕成社

こいぬはみつばちの家に興味津々。中にはみつが
いっぱいです。



しょうかいします
こんな本 No.87

みえないけれどいるんだよ

こびとのえほん

『おかしのまち』

青山 邦彦／作・絵 フレーベル館

お菓子屋さんに住む、おてつだいこびと。ある日、
主人とけんかをしてたくらんだことは…

『おたすけこびとのにちようび』

コヨセ ジュンジ／絵 徳間書店

こまったときは、何でもお助け。

そんなおたすけこびとたちにも、お休みがあります。

『フィンランドの小人たちトントウ』

マウリ・クナス／作 猫の言葉社

トントウは家の守り神。音楽好き、食いしんぼう、
おこりっぽい、色んなトントウがいるんです。

『こびとかな』

おがわ ようこ／さく・え フレーベル館

ぼうしとおひげの、ゆかいなこびとたちの姿で、
ひらがなを表します。

『こびとのくつや』

バーナデット・ワッツ／絵 西村書店

貧しい靴屋が、昨日の続きの仕事にかかろうとすると、
もう靴は上手にぬってありました。



しょうかいします
こんな本 No.88

けろけろけろっ

かえるのえほん

『カエルのおでかけ』

高畠 那生／作 フレーベル館

そとはどしゃぶりのいい天気！

かえるにとってはいい天気！

『オレ、カエルやめるや』

マイク・ボルト／え マイクロマガジン社

オレ、かえるやめてネコになるや。

なんで？ネコになれないんだ？！

『弾きがえる』

市居 みか／絵 子どもの未来社

3人兄弟がバイオリンを練習していると、

池のかえるにたのまれ、かえるの家で弾くことに…

『カエルのえいゆうサー・リリパッド』

サラ・オギルヴィー／絵 フレーベル館

小さいカエルのリリパッド。カエルの英雄になりたくて、

とらわれのお姫さまを探しにいけますが…

『かえるの竹取ものがたり』

斎藤 隆夫／絵 福音館書店

おなじみのかぐや姫の物語。登場人物をかえるに

変えた、絵巻のような絵本。



しょうかいします
こんな本 No.89

すてきでしょ
**おようふくの
えほん**

『わたしのワンピース』

にしまき かやこ／えとぶん こぐま社
まっしろなきれでワンピースをつかったの。
とてもすてきなワンピースなのよ。

『おばけのドレス』

はせがわ さとみ／作・絵 絵本塾出版
まど
窓のすきまから、まっしろのふわふわしたものが
はい
入ってきて、それを着^きてみると…

『のはらのスカート』

南塚 直子／絵 岩崎書店
おかあさんが作^{つく}ってくれたスカートには、ちょうちょの
ししゅうがいっぱい！みんなに見^みせてこよう。

『ねずみくんのチョッキ』

上野 紀子／絵 ポプラ社
ねずみくんの大切^{たいせつ}なチョッキ。「いいチョッキだね」と
みんなが順^{じゅんばん}番^きに着たら…

『おじいちゃんのコート』

バーバラ・マクリントック／絵 ほるぷ出版
おじいちゃんの人^{じん}生^{せい}によりそって大切^{たいせつ}にされたコート。
だんだんに形^{かたち}を変^かえ、最後^{さいご}には…



しょうかいします
こんな本 No.90

さらさらかけるよ

えんぴつのえほん

『くまさんのおたすけえんぴつ』

アンソニー・ブラウン／さく BL出版

か書いたものがほんとうまほう魔法のえんぴつで、くまさんは
ハンターから逃げられるのか？！

『えんぴつのおすもう』

かとう まふみ／作・絵 偕成社

ある夜のこ。机の上の土俵では、えんぴつたちの
おすもう大会が開かれました。

『天使のえんぴつ』

クエンティン・ブレイク／作 評論社

クルッピーとウカレッピーは天使なんです。
ふたりは特別なえんぴつを1本持っています。

『えんぴつはかせ』

山岡 ひかる／作 偕成社

ぼんやりとしていただけなのに、気がつくともんだい
とけていた！

『おじいさんのえんぴつ』

マイケル・フォアマン／作・絵 金の星社

男の子がベッドに入り夢を見ているころ、古いえんぴつ
は、物語を書きはじめました。



しょうかいします
こんな本 No.91

みんなのいこいの場^ば

こうえんのえほん

『こうえんのかみさま』

すぎはら ともこ／作・絵 徳間書店

むし^ず好きのけんちゃんに^{あそ}遊んでほしくて、一生懸命^{いっしょうけんめい}
とったトンボに^の乗っていたのは、なんと^{かみさま}神様！

『こうえんで…4つのお話』

アンソニー・ブラウン／さく 評論社

まど窓のすきまから、まっしろのふわふわしたものが
はい入^きってきて、それを着てみると…

『ふたごのひよちゃん』

ぴよちゃんはじめてのすべりだい』

バレリー・ゴルバチョフ／作・絵 徳間書店

ひよちゃん、ぴよちゃん^{こうえん}の公園デビュー！

^{こうえん}公園では、みんなが^{いろ}色々なことをしています。

けんじゅうこうえんりん

『虔十公園林』

伊藤 秀男／絵 三起商行

ひと^{けんじゅう}人にばかにされても、虔十は700本の^{ぼん}杉の^{すぎ}木を^き植^うえ^{つづ}続け
ました。宮沢賢治^{みやざわけんじ}の^{どうわ}童話。

『ピッピ、公園でわるものたいじ』

イングリッド・ニイマン／絵 徳間書店

^{こうえん}公園であばれる^{わるもの}悪者は、ピッピがゆるさないからね！

^{せかいいちつよ}世界一強い女^{おんな}の子^こ、ピッピのシリーズ。



しょうかいします
こんな本 No.92

どうか、おてんきにして！

てるてるぼうず のえほん

『てるてるぼうずとふりふりぼうず』

せな けいこ／作・絵 金の星社

は す ねこ
晴れが好きな猫はてるてるぼうずを、あめ す いぬ
雨が好きな犬は
ふりふりぼうずをつく
を作りました。

『コッコさんとあめふり』

片山 健／さく・え 福音館書店

てるてるぼうずをつく まいにち
を作るでも、毎日あめふりばかり。
コッコさんは、いっしょうけんめい ねが
一生懸命お願いをします。

『あっぱれ！^{おうじ}てるてる王子』

コマヤスカン／作 講談社

あした えんそく たいふう ぼうず こ
明日は遠足。でも台風やって。てるてる坊主を100個
つく ねが
作ってお願いするわ。

『あたし、ピーカンちゃん』

大森 裕子／作 教育画劇

あたしは、そこらのてるてるぼうずとはちが
うのよ。
ひゃっぱつひやくちゅう は おんな
百発百中の晴れ女なんだから！

『てるてるひめ』

長尾 紀壽／絵 新日本出版社

むすめ つく ぼうず むら せいてんつづ
娘の作ったてるてる坊主で村は晴天続き。このままでは、
た みず
田んぼに水がなくなってしまう。



しょうかいします
こんな本 No.93

もりのようせい

りすのえほん

『おひっこし』

及川 賢治, 竹内 繭子／作 学研

たくさんのりすが穴から出てきた。ぞろぞろぞろぞろと
ある歩いていく…

『りすでんわ』

高橋 和枝／著 白泉社

まちには、でんわという便利なものがあるらしい。
りすたちは、でんわをつくることにしました。

『ホーじいさんとヤムの桃』

喜多嶋 洋子／え・ぶん 白泉社

やさしいヤムかあさんの贈り物の桃の木と3匹の子リスは、
ホーじいさんに見守られて育ちます。

『3びきこりすのケーキやさん』

権田 章江／作・絵 教育画劇

ようこそ、いらっしゃいませ！おなやみ、こまりごと、
おいしいケーキでなおしちやいます。

『りすのナトキンのおはなし』

ビアトリクス・ポター／さく・え 福音館書店

しまきみの島の実とりをゆるしてもらうため、りすたちは
ブラウンじいさまにお願いしにいきました。



しょうかいします
こんな本 No.94

もういいか〜い？

かくれんぼの えほん

『まよなかのかくれんぼ』

織茂 恭子／作 リーブル

たっくんが猫^{ねこ}のポロンとまよなかの森^{もり}へでかけると、
かくれんぼがはじまりました。

『おもちゃびじゅつかんでかくれんぼ』

デイヴィッド・ルーカス／作 徳間書店

ある夜^{よる}、どうしたとか、おもちゃたちはいっせいに
走り出^{はし}し、いなくなっていました！

『かくれんぼ』

種村 有希子／作 アリス館

ミミちゃんのかくれんぼがきらい。なぜって、
ひとりでかくれるのがこわいから。

『ないしょのかくれんぼ』

バーバラ・マクリントック／絵 ほるぷ出版

マリアとねずみのネズネズは、ないしょのお友^{とも}だち。
それぞれのママをさがしていましたが…

『かくれんぼ』

池 貴巳子／文・絵 福音館書店

きょう
今日はおばあちゃんちでかくれんぼ。もういいかいー
まあだだよ。朝鮮半島^{ちょうせんはんとう}のわらべうた。



しょうかいします
こんな本 No.95

かいてつたえよう

てがみのえほん

『てがみぼうやのゆくところ』

加藤 晶子／作 講談社

ぼくは、ポストへ入れられた^い手紙^{てがみ}。となりまちの
おばあちゃんのところへいくんだ。

『たんじょうびのふしぎなてがみ』

エリック＝カール／さく・え 偕成社

あした^{あした} たんじょう^{たんじょう} び^び
明日は誕生日。チムは枕^{まくら}の下から封筒^{ふうとう}を見つけました。
ふうとう^{ふうとう} なか^{なか} なぞ^{なぞ} てがみ^{てがみ}
封筒の中には、謎の手紙…！

『たいせつなてがみ』

マックス・ベルジュイス／絵と文 セーラー出版

おうさま^{おうさま} おく^{おく} だいじ^{だいじ} てがみ^{てがみ} ぶ^ぶ じ^じ とど^{とど}
王様がアメリカへ送った大事な手紙。無事に届くか
しんぱい^{しんぱい} てがみ^{てがみ} お^お
心配なワニくんは、手紙を追いかけた。

『てがみをください』

むらかみ つとむ／え 文研出版

ゆうびんばこ^{ゆうびんばこ} のぞくと、かえるが住んでいた。
とど^{とど} てがみ^{てがみ} じぶん^{じぶん}
届いた手紙は自分のものだというけれど…

『おてがみです』

ガブリエル・バンサン／作 ブックローン出版

あさはや^{あさはや} お^お むら^{むら} まち^{まち} いっけん^{いっけん} とど^{とど} い^い
朝早く起きて、いくつかの村や町へ一軒ずつ届けに行く。
ゆうびんや^{ゆうびんや} はなし^{はなし}
ある郵便屋さんのお話。



しょうかいします
こんな本 No.96

くちのまわりにはえる

ひげのえほん

『おひげおひげ』

西村 敏雄／絵 鈴木出版

ねこにも、おじいさんにもひげがあります。

いいなあ、いいなあ、ぼくもほしいなあ！

『ひげじまん』

こしだ ミカ／作 小学館

ひげじまんの^{おお}大な^{せかいいち}まずは、^{さが}世界一のひげじまんを探しに、

ひげをプロペラにして^と飛び^た立った！

『にげだしたひげ』

シビル・ウェッタシンハ／さく 木城えほんの郷

バブンじいさんは、^{なが}長いひげをねずみにかじってもらって
いましたが…スリランカのお^{はなし}話。

『ひげひげわたりひげ』

酒巻 恵／作 あかね書房

^{はる}春が^き来た。^{ことし}今年もこの^{まち}街にひげの^{むれ}群が^{かえ}帰ってきた。

いろんなひげが^{わた}渡ってきたよ。

『ペローの^{あお}青ひげ』

エリック・バトゥー／絵 講談社

^{かねも}金持ちの^{あお}青いひげの^{おとこ}男。その奥方は、^{おくがた}見てはならぬと

^い言われていた^{へや}部屋を見て^み秘密を^{ひみつ}知^しってしまう…



しょうかいします
こんな本 No.97

あしがはっぽん タコのえほん

『タコやん』

南 伸坊／え 福音館書店

ある日、しょうちゃんの家に来たタコやん。タコと
遊ぶのはいやだなあ、と思っていたら…

『だいくのたこ8さん』

田中 六大／絵 くもん出版

名人たこ8さんに建てられない家はない。おかしな
住人たちの家の悩みを次々と解決します！

『うみのポストくん』

村上 康成／絵 教育画劇

あか 赤いまるいポストは、タコにそっくり。タコは毎日、
ポストのところに遊びにいきました。

『たこなんかじゃないよ』

秋野 亥左牟／絵 福音館書店

おお 大きなサンゴの穴から出たたこは、いろ かたち
海の中を散歩します。

『タコのオクトくん』

高畠 純／え ポプラ社

とう お父さんとお母さんの好物のナスビをとってきて
あげる！オクトくんは大冒険に出発しました。



しょうかいします
こんな本 No.98

はっしゃオーライ！

バスのえほん

『ごじょうしゃありがとうございます』

シゲリ カツヒコ／作 ポプラ社

バスに乗って、おばあちゃんに会いに。終点で
の
乗りかえたバスは、なんだかへんてこで…

『妖怪バス旅行』

広瀬 克也／作 絵本館

今日は、妖怪横丁のバス旅行。ふつうじゃな一い、
の
楽しい旅にご案内しまーす！

『わたしたちのてんごくバス』

ボブ・グレアム／さく さ・え・ら書房

ステラ^{いえ まえ す}の家の前に捨てられていたおんぼろバス。
いきさき^か行先には「てんごく」と書いていて…。

『ムニャムニャゆきのバス』

長 新太／作・絵 偕成社

ベエーベエーとブザー^{おと}の音。だれかがおりてくるよ。

『やまのバス』

村田 エミコ／画 佼成出版社

運転手^{うんてんしゅ}のやまださんが25年^{ねん}も運転した、
「おくやまゆき」のバスは今日^{きょう}で最後^{さいご}です。



しょうかいします
こんな本 No.99

ころころころっと どんぐりのえほん

『どんぐり』

こうや すすむ／さく 福音館書店

みずならの木が、^き春、^{はる}夏、^{なつ}秋、^{あき}冬と変化します。

^{みの}実ったどんぐりは^{もり}森の^{どうぶつ}動物たちのえさになります。

『ドングリ小屋』

いしい つとむ／著 佼成出版社

クラスがえで別々になったぼくたち。

^{ほうかご}放課後は^{ごや}どんぐり小屋へ^{しゅうごう}集合だよ。

『たったひとつのドングリが』

フラン・プレストン＝ガノン／え 評論社

^お落ちたどんぐりが^き木に^{そだ}育つ。鳥が^{とり}巣をつくり、^す花の^{はな}種を^{たね}
^お落とす…^{いのち}命の^{えほん}つながりの絵本。

『クヌギくんのぼうし』

古沢 たつお／作 風濤社

クヌギくんの^{たいせつ}大切な^{ぼうし}帽子は、^{ぼうし}すてきな帽子。

みんな、かぶってみたくになります。

『どんぐりどらや』

かべや ふよう／え 佼成出版社

^{もり}森の^{おく}奥でどんぐりたちが、^{なに}何やらおいしそうなものを

^{つく}作っています。どんぐりどらやへようこそ！



しょうかいします
こんな本
No.100

ごうきねん
100号記念！

ひゃくのえほん

『おうさまがかえってくる100びょうまえ！』

柏原 佳世子／作 えほんの杜

おう ^へや ^{あそ}び ^{けらい}王さまの部屋で遊んでいた家来たち。あと100 ^{びょう}秒で
おう ^{かえ}王さまが帰ってくるぞ！さあかたづけろ！

『ひゃくえんだま』

荒井 良二／絵 鈴木出版

^{ひゃくえんだま}百円玉をもらって、うれしくてうれしくて、^て手のひらに
にぎったま ^{ねむ}ま眠ったら…

『100にんのサンタクロース』

谷口 智則／作・絵 文溪堂

クリスマスの^{じゅんぴ}準備はたくさん！
だから100人^{にん}みんなで^{ちから}力をあわせるんだ。

『100年^{ねん}たったら』

あべ 弘士／絵 アリス館

ライオンは、^と飛べない^{とり}鳥を^た食べずにいっしょに
^す過ごすことを^{えら}選んだ。そして、^{つきひ}月日^たが経ち…

『100回^{かい}いったでしょ！』

クラウディア・ラヌッチ／絵 講談社

100回^{かい}も言^いったでしょ、とママはいうけれど、
^{なん}何^{かい}のことだったかな？早く^{はや}思^{おも}い出^ださなきゃ…！

